

昭和大学医学部 脳神経内科

年 報



2021 年～2022 年

昭和大学医学部内科学講座 脳神経内科学部門



2022 年 5 月 20 日撮影

目 次

初年度を終えて	1
[1] 昭和大学脳神経内科教室員 在籍者名簿	3
[2] 人事異動	5
[3] 学位・資格取得者	8
[4] 行 事	9
[5] 診 療	12
[6] 症例カンファレンス	17
[7] 教育活動	18
[8] 業 績	24
[9] 研究助成	59
[10] 附属病院の紹介	60
編集後記	63

初年度を終えて

村上秀友

2022 年 4 月 1 日付で小野賢二郎教授の後任として昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門の教授ならびに附属東病院脳神経内科の診療科長を拝命いたしました。私は 1999 年に昭和大学を卒業すると同時に神経内科に入局し、河村満教授、市川博雄教授、小野賢二郎教授、そしてお声がけいただき 2018 年に異動した慈恵医大の井口保之教授をはじめ多くの先生方にご指導いただきました。これまでにお世話になったすべての皆様、患者様に厚く御礼を申し上げます。昭和大学に戻り教室を担当させていただくにあたり、当科が診療、教育、研究の各活動を滞りなく遂行できるように責任者としてコントロールすることを大学本部に約束しました。私を育てていただいたすべての方々に恩返しするためにも身を粉にして職責を果たし、教室の活動が教室員の相互の成長をもたらすとともに、患者様、学生、大学、一般社会そして神経学の進歩に貢献するよう精進して参ります。

着任から 1 年が経ちましたが、我々の足跡を後世に伝えるとともに、どのくらい成長できたかを振り返ることができるように年報を作成することとしました。2021 年 10 月に前任の小野賢二郎教授が金沢大学脳神経内科の教授としてご栄転されましたが、その後私の着任までの間に教授の交代を理由とする退局者は現れることなく、教室の先生方はコロナ禍を乗り越えながら、医療事故や大きなトラブルもなく科の活動を維持してくださいました。今回は小野賢二郎教授と教室の先生方への謝意を込め、教室の活動を途切れることなく記録するために小野教授時代に既刊の年報の対象時期の後となる 2021 年 1 月から 2022 年度末（2023 年 3 月）までの間を、私の着任前の期間も含めて、対象としました。

昭和大学に戻るにあたって走馬灯のように頭を巡った風景は当科のメイン病棟である東 2 階病棟の風景です。東 2 階病棟は 1999 年 3 月 1 日に開設されましたが、国家試験前に河村満助教授（当時）と市川博雄医局長（当時）に入局を申し出た時には東棟各科の医局から病棟への改造工事中でした。自分はここから人生を拓くのか、と気持ちが引き締まった事を覚えています。当時は医師に労務管理という概念はなく、入局後は夜遅くまで先輩と一緒に過ごし、診療や学会発表などについてご指導いただいた事や、当時拝見した患者さんの姿がありありと思い出されました。初心に返りつつ、今後の科の発展の夢を見て 2022 年 4 月 1 日に着任いたしました。着任にあたり、2020 年の初頭から本邦でも蔓延した COVID-19 により昭和大学も大きな影響を受け、元通りではないことは予想していましたが、実際に着任してみるとその変貌ぶりに衝撃を受けました。東 2 階病棟は東京都の確保病床になり、学生実習も頻繁に中止、ベッドサイドの回診もままならず、学会や研究会で

の他施設の先生方との交流も十分にできず、前途多難な現実を見せつけられました。コロナ収束後を見据えてどのように教室を盛り上げるか、何から手を付けるか、を診療課長補佐、医局長、病棟長、診療班長、外来医長、教育長をはじめとする教室スタッフと共に考える日々でした。そのような中、5月に順天堂大学の服部信孝教授が第63回日本神経学会学術大会を久しぶりに現地開催されたことには復興への光を感じました。やはり、当科でも教室員が直接顔を見て話せることが大切と考え、広い東食堂で窓開けと扇風機による換気下での症例カンファレンスを6月から再開し、抄読会も10月から再開しました。11月1日から東2階病棟が一般病棟に戻り、さらに雪解けを感じることができました。さらに、12月の専攻医採用試験の結果、令和5年度の新入医局員が6名（旗の台で3人、藤が丘で2人、横浜市北部で1人）確定したことには本当に勇気づけられました。2023年1月には人数と対象患者を絞った1例15分以内のベッドサイドの回診も再開し、カルテ回診だけでは分からなかった患者の姿を病棟医や学生と共有し、より濃厚な議論をすることができるようになりました。年が明けた1月には黒田岳志講師の論文がFrontiers in Aging Neuroscienceに採択され、私の着任後初めてとなる当科からの原著論文となりました。教室の皆様の地道な努力に敬意と感謝を表します。

本年報が発行される頃には既に過ぎていると思われませんが、2023年5月には新型コロナウイルス感染症は5類感染症になることが決まりました。医療現場は一般社会よりも厳格な感染対策が引き続き求められるとは思いますが、我々の活動は人と人との対面による実現が基本であると感じています。社会がCOVID-19をさらに乗り越えていく時期に重なる着任2年目には学内外における様々な活動のあり方を見つめなおし、コロナ前の姿に戻すべきものは戻し、着任にあたっての抱負を実現していきたいと思います。今後とも関係する皆様方のご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

[1] 昭和大学脳神経内科教室員 在籍者名簿

2023/1/1 現在

[昭和大学病院・附属東病院]

主任教授（診療科長）	村 上 秀 友
名誉教授	河 村 満
客員教授	新 井 信 隆
客員教授	井 口 保 之
客員教授	小 野 賢二郎
准教授	稗 田 宗太郎
准教授（診療科長補佐）	矢 野 怜
講師（外来医長）	黒 田 岳 志
講師（医局長）	笠 井 英 世
講師（病棟医長）	水 間 啓 太
助教	兼 元 みずき
助教	渡 辺 大 士
助教	森 友紀子
助教	飯 塚 奈都子
助教	久保田 怜 美
助教	浅 野 未 希
助教	小 室 浩 康
助教	三 木 綾 子
助教	加 藤 悠 太
助教	石 代 優美香
助教（医科）	野 原 哲 人
助教（医科）	門 馬 佑太郎
助教（医科）	大 橋 英 朗
助教（医科）	イズデプスキ彬子
助教（医科）	石 田 敦 士
大学院生	井 藤 尚 仁
大学院生	山 本 謙
大学院生	小 菅 将 太
大学院生	正 路 大 樹
内科専攻医	柿 沼 佑 樹
内科専攻医	中 西 達 彌
内科専攻医	野 勢 崇 博
内科専攻医	橋 口 幸 宜
臨床心理士	宮之原 麻 衣

[藤が丘病院]

准教授	馬 場 康 彦
客員教授	自 見 隆 弘
講師	二 村 明 徳
助教	高 橋 聖 也
助教	安 本 太 郎
助教	鍋 島 陽 子
内科専攻医	松 岡 馨
内科専攻医	小 尾 俊 敦
内科専攻医	慶 長 雅 人

[藤が丘リハビリテーション病院]

病院長/教授	市 川 博 雄
助教	刑 部 祐友子

[横浜市北部病院]

准教授	金 野 竜 太
助教	渡 辺 慶 子
助教	小山内 綾 子 (産休)
内科専攻医	渡 邊 晋 平

[江東豊洲病院]

准教授	栗 城 綾 子
助教	野 元 祥 平
助教	福 田 早 織
助教	藤 井 隆 史
内科専攻医	島 田 豪
内科専攻医	菊 地 優 一

[出向中]

都立神経病院	和 田 隆 秀 (後期研修医)
富士吉田市立病院	片 岡 和 之 (内科専攻医)
富士吉田市立病院	洲之内 あずさ (内科専攻医)
長岡西病院	小 澤 準之輔 (内科専攻医)

[2] 人事異動

<2021 年度新入医局員>

小 澤 準之輔
片 岡 和 之
洲之内 あずさ

<2022 年度新入医局員>

小 尾 俊 敦
慶 長 雅 人
野 勢 崇 博
橋 口 幸 宜
渡 邊 晋 平

<転入>

2021 年 4 月

小 菅 将 太：富士吉田市立病院より昭和大学病院へ
小山内 綾 子：静岡赤十字病院より横浜市北部病院へ

2021 年 10 月

石 代 優美香：静岡赤十字病院より昭和大学病院へ
和 田 隆 秀：獨協医科大学埼玉医療センターより江東豊洲病院へ

2022 年 4 月

村 上 秀 友：東京慈恵会医科大学病院より昭和大学病院へ
加 藤 悠 太：獨協医科大学埼玉医療センターより昭和大学病院へ
柿 沼 佑 樹：山梨赤十字病院より昭和大学病院へ
島 田 豪：獨協大学埼玉医療センターより江東豊洲病院へ
中 西 達 彌：上都賀総合病院より昭和大学病院へ

2022 年 8 月

石 田 敦 士：富士吉田市立病院より昭和大学病院へ

2022 年 10 月

菊 地 優 一：上都賀総合病院より江東豊洲病院へ
松 岡 馨：富士吉田市立病院より藤が丘病院へ

<転出>

2021 年 4 月

大 湾 喜 行：藤が丘病院より矢澤クリニック渋谷へ【退局】
加 藤 悠 太：江東豊洲病院より獨協医科大学埼玉医療センターへ

和 田 隆 秀：江東豊洲病院より獨協医科大学埼玉医療センターへ
柿 沼 佑 樹：横浜市北部病院より富士吉田市立病院へ
島 田 豪：昭和大学病院より獨協医科大学埼玉医療センターへ
中 西 達 彌：昭和大学病院より上都賀総合病院へ
松 岡 馨：昭和大学病院より山梨赤十字病院へ

2021 年 10 月

小 野 賢二郎：昭和大学病院より金沢大学附属病院へ
菊 地 優 一：昭和大学病院より上都賀総合病院へ

2022 年 4 月

神 谷 雄 己：江東豊洲病院より虎ノ門病院へ【退局】
栄 良 樹：昭和大学病院より鹿児島徳洲会病院へ
和 田 隆 秀：江東豊洲病院より都立神経病院へ
片 岡 和 之：昭和大学病院より富士吉田市立病院へ
小 澤 準之輔：昭和大学病院より長岡西病院へ

2022 年 10 月

木 村 篤 史：江東豊洲病院より大島病院へ【退局】
洲之内 あずさ：江東豊洲病院より富士吉田市立病院へ

＜昭和大学附属病院間異動＞

2021 年 4 月

杉 本 あずさ：昭和大学病院より藤が丘病院へ
久保田 怜 美：昭和大学病院より横浜市北部病院へ
栄 良 樹：横浜市北部病院より昭和大学病院へ
小 室 浩 康：昭和大学病院より江東豊洲病院へ
山 本 謙：江東豊洲病院より昭和大学病院へ
鍋 島 陽 子：昭和大学病院より藤が丘病院へ

2021 年 7 月

小 室 浩 康：江東豊洲病院より昭和大学病院へ

2021 年 10 月

二 村 明 徳：昭和大学病院より藤が丘病院へ

2022 年 4 月

渡 辺 慶 子：昭和大学病院より横浜市北部病院へ
久保田 怜 美：横浜市北部病院より昭和大学病院へ
木 村 篤 史：昭和大学病院より江東豊洲病院へ

2022 年 10 月

野 元 祥 平：藤が丘病院より江東豊洲病院へ

刑 部 祐友子：藤が丘病院より藤が丘リハビリテーション病院へ

慶 長 雅 人：藤が丘病院より横浜市北部病院へ

2022 年 12 月

慶 長 雅 人：横浜市北部病院より藤が丘病院へ

渡 邊 晋 平：藤が丘病院より横浜市北部病院へ

2023 年 2 月

小 尾 俊 敦：藤が丘病院より横浜市北部病院へ

渡 邊 晋 平：横浜市北部病院より藤が丘病院へ

[3] 学位・資格取得者

(1) 学位の取得

2021 年度

飯 塚 奈都子
木 村 篤 史
三 木 綾 子
森 友紀子

2022 年度

大 橋 英 朗
石 代 優美香

(2) 専門医・認定医の取得

(日本内科学会 専門医)

2021 年度

石 田 敦 士
小山内 綾 子
小 菅 将 太
正 路 大 樹
鍋 島 陽 子
福 田 早 織
藤 井 隆 史

2022 年度

加 藤 悠 太
石 代 優美香
和 田 隆 秀

(日本内科学会 認定内科医)

2021 年度

イズデブスキ 彬子

(日本内科学会 総合内科専門医)

2022 年度

井 藤 尚 仁
馬 場 康 彦

(日本神経学会 神経内科専門医)

2021 年度

浅 野 未 希
木 村 篤 史
小 室 浩 康
高 橋 聖 也

安 本 太 郎

山 本 謙

2022 年度

石 田 敦 士
刑 部 祐友子
小山内 綾 子
小 菅 将 太
正 路 大 樹
鍋 島 陽 子
福 田 早 織
藤 井 隆 史
三 木 綾 子

(日本神経学会指導医)

2022 年度

水 間 啓 太

(日本脳卒中学会指導医)

2021 年度

水 間 啓 太

(日本認知症学会 認知症専門医)

2021 年度

久保田 怜 美
野 元 祥 平

(日本認知症予防学会専門医)

2022 年度

黒 田 岳 志

[4] 行 事

新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会はすべて Web 開催となりました。

2021 年 1 月 12 日

和歌山県立医科大学脳神経内科 教授 伊東秀文 先生より

『パーキンソン病治療 2021～新たな幕開け～』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 1 月 19 日

慶應義塾大学医学部神経内科 教授 中原仁 先生より

『MS 外来診療の理論と実践～コパキシンの臨床的役割も含めて～』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 2 月 9 日

慶應義塾大学医学部神経内科 専任講師 伊澤良兼 先生より

『脳梗塞治療～基礎研究と臨床データの再考～』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 2 月 25 日

岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野 教授 前田哲也 先生より

『ロングハネムーンを目指す PD 治療』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 3 月 2 日

日本医科大学大学院医学研究科神経内科学部門 准教授 永山寛 先生より

『パーキンソン病の精神症状：最近の話題』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 3 月 9 日

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室 教授 矢部一郎 先生より

『脳神経内科領域における臨床遺伝診療』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 3 月 15 日

東京医科大学臨床医学系眼科学分野 兼任教授 毛塚剛司 先生より

『視神経炎の鑑別診断と治療』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 5 月 28 日

順天堂大学医学部神経学講座 教授 服部信孝 先生より

『進行期パーキンソン病における治療戦略について』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 6 月 4 日

東京都健康長寿医療センター放射線診断科 専門部長 今林悦子 先生より

『脳血流 SPECT による認知症の臨床的脳機能評価-脳血流量の扱いと SPECT～Z スコア画像まで-』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 6 月 18 日

高松神経内科クリニック 院長 山本光利 先生より

『パーキンソン病治療の変遷-過去・現在・未来-』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 7 月 26 日

順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科 准教授 波田野琢 先生より

『パーキンソン病診療の Next Normal を考える～オンライン診療の取り組みを含めて～』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 8 月 25 日

公立松任石川中央病院 PET センター センター長 横山邦彦 先生より

『MCI 拾い上げを目指した地域連携チャレンジ：SPECT と PET の位置づけ』

のタイトルでご講演を賜りました。

2021 年 9 月 1 日

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター脳神経内科 診療副部長 大本周作 先生より

『パーキンソン病の精神症状～minor hallucination を中心に～』

のタイトルでご講演を賜りました。

2022 年 12 月 2 日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構脳機能イメージング研究部 医長 徳田隆彦 先生より

『アルツハイマー病診断・層別化バイオマーカー開発の国際的な現状と今後の展望
- DMT の実用化を目前に控えて』

のタイトルでご講演を賜りました。

2022 年 12 月 9 日

自治医科大学内科学講座神経内科学部門 主任教授 藤本茂 先生より

『脳卒中の最近の話題と地域連携』

のタイトルでご講演を賜りました。

2023 年 2 月 3 日

東京都健康長寿医療センター放射線診断科 部長 徳丸阿耶 先生より

『認知症の画像診断 -画像病理連関を通して学ぶこと-』

のタイトルでご講演を賜りました。

2023 年 3 月 17 日

昭和大学医学部小児科学講座 教授

昭和大学病院 てんかん診療センター センター長 加藤光広 先生より

『ゲノムからみたてんかんの移行期医療』

のタイトルでご講演を賜りました。

2023 年 3 月 23 日

獨協医科大学内科学（神経） 主任教授 鈴木圭輔 先生より

『パーキンソン病の睡眠障害 UP DATE：ゾニサミドの可能性を含めて』

のタイトルでご講演を賜りました。

[5] 診 療

(1) 外来より

医局長、病棟医長を経て、2023 年 1 月から外来医長を担当しております。コロナ禍も終焉を迎えつつあり、外来の様子も徐々にコロナ禍前の姿を取り戻してきました。私自身は近年、職場での主戦場を病棟や救急業務から外来、教育、そして学術分野にシフトしてきました。その中で感じたことは、外来が大学病院における診療の核となる場所であるということです。以前までは大学病院の“advanced medical care”を提供できるのは病棟や救急の場であり、一般外来は病院での“basic medical care”を提供する場所と認識していました。しかし実際は、個々のマネジメントが患者さんの一生を左右する可能性がある場こそが外来であると現在は理解しています。

その理由の一つとして、大学病院の外来というものが、地域の診療所やクリニック、民間病院にとって最後の紹介の砦であるからです。今まで治療や診断が困難であった患者さんも大学病院に紹介すればなんとかなる、そういった思いを受け止める必要があります。一方で、外来診療は病棟診療とは異なり、一人あたりの診療に長時間をかけることができません。限られた時間内で必要な情報を聞き出し、神経診察を行い、診断の目処をつけてそれを裏付けるための必要な検査を組んでいく、脳神経内科の外来ではこの作業を短時間で要領よく行う必要があります、ハイレベルな診療能力が求められます。

もう一つの理由が、近年の治療技術の発展や新規薬剤の登場により、従来であれば入院が必要とされた治療も、外来で行うことが可能となったからです。例えば神経免疫疾患の治療では免疫グロブリン大量静注療法や血漿交換療法を用いることがありますが、現在では皮下注射製剤や類似効果のある薬剤を用いることによって在宅や外来で施行することができ、病状のトータルケアに近いことが外来診療のみで可能となりました。このように治療の選択肢が増えた反面、個々の外来担当医の能力が反映されるとも言え、自分の専門分野外の知識も絶えずアップデートしていく必要があります。

しかし、外来ブースの中では一人ですが、必要な処置があれば救急当番の先生方の力を借りて施行したり、外来診療で限界を感じる場合は入院診療に切り替えて病棟担当の先生方に手厚い医療を施行してもらったり、時に専門知識のある先生に連絡して知恵を借りたりしています。当科ではこのようなチーム医療を実践できるチームワークの良さ、仲の良さがあると個人的には感じており、それがより当科の外来診療を強固なものにしていると信じています。

最後に円滑な外来診療にご貢献頂いている、看護師、医療事務、ソーシャルワーカーの方々や、当院の外来にたくさんの患者さんをご紹介頂き、またその後の継続診療を引き受けて下さっている地域の開業医の先生方には、この場をお借りして脳神経内科一同、心より御礼申しあげます。当科の外来を、来院した患者さんに「来てよかった」と感じてもらえるような“advanced medical care”の場にしていきたいと思っています。

外来医長 黒田岳志

令和4年度 昭和大学病院 外来担当医（令和5年3月31日現在）

			月	火	水	木	金	土
脳神経内科	午前	初・再診		<一般> 河村 満 村上 秀友				
	午後	再診				<経食道心臓超音波> 水間啓太/野原哲人/三木綾子		

令和4年度 昭和大学附属東病院 外来担当医（令和5年3月31日現在）

			月	火	水	木	金	土
脳神経内科	午前	初・再診	<一般> 稗田 宗太郎 矢野 怜 渡辺 大士	<一般> 矢野 怜 黒田 岳志 久保田 怜美	<一般> 稗田 宗太郎 森 友紀子 門馬 佑太郎	<一般> 堀部 有三 兼元 みずき 笠井 英世 飯塚 奈都子	<一般> 森友紀子/飯塚奈都子（第1） 大橋英朗/久保田怜美（第2） 兼元みずき/野原哲人（第3） 渡辺大士/門馬佑太郎（第4） 野原哲人（第5）	<一般> 矢野怜/笠井英世（第1） 黒田岳志/水間啓太（第2） 森友紀子/飯塚奈都子（第3） 久保田怜美/門馬佑太郎（第4） 野原哲人（第5）
	午後	再診	大橋 英朗 <物忘れ外来(完全予約制)> 交代制* <脳卒中再診外来(完全予約制)> 水間 啓太	浅野未希/三木綾子 <電気生理外来(完全予約制)> 黒田 岳志 <高次脳機能外来(完全予約制)> 二村 明徳(第2.4週)	南雲 清美（第1週） 小室 浩康 <物忘れ再診(完全予約制)> 森 友紀子 <頭痛外来(完全予約制)> 笠井 英世(第2.4週) <脳卒中再診外来(完全予約制)> 水間 啓太(第3.5週)	兼元 みずき <頭痛外来(完全予約制)> 笠井 英世 <ボツクス外来(完全予約制)> 飯塚 奈都子(第1.3.5週) <認知症予防外来(完全予約制)> 黒田 岳志(第2.4週)	森友紀子/飯塚奈都子（第1） 大橋英朗/久保田怜美（第2） 兼元みずき/野原哲人（第3） 渡辺大士/門馬佑太郎（第4） 野原哲人（第5） <電気生理外来(完全予約制)> 大野 英樹(1,3,4,5週)	矢野怜/笠井英世（第1） 黒田岳志/水間啓太（第2） 森友紀子/飯塚奈都子（第3） 久保田怜美/門馬佑太郎（第4） 野原哲人（第5）
			交代制*担当医師 稗田 宗太郎 矢野 怜 黒田 岳志 森 友紀子					

外来患者数（2021年4月～2022年3月）

初診	1,712	人
再診	11,847	人

昭和大学病院（脳神経内科）

月	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9	2021/10	2021/11	2021/12	2022/1	2022/2	2022/3	合計
初診	15	14	21	26	15	10	25	20	17	11	17	15	206
再診	45	38	51	44	41	42	40	36	49	25	31	38	480
合計	60	52	72	70	56	52	65	56	66	36	48	53	686

昭和大学附属東病院（脳神経内科）

月	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9	2021/10	2021/11	2021/12	2022/1	2022/2	2022/3	合計
初診	128	95	148	134	113	128	135	134	122	100	123	146	1,506
再診	921	836	921	922	921	1,025	978	999	964	997	870	1,013	11,367
合計	1,049	931	1,069	1,056	1,034	1,153	1,113	1,133	1,086	1,097	993	1,159	12,873

外来患者数（2022年4月～2023年3月）

初診	1,734	人
再診	12,173	人

昭和大学病院（脳神経内科）

月	2022/4	2022/5	2022/6	2022/7	2022/8	2022/9	2022/10	2022/11	2022/12	2023/1	2023/2	2023/3	合計
初診	23	27	19	22	12	16	17	16	19	26	17	22	236
再診	40	48	36	38	45	53	59	61	54	51	64	58	607
合計	63	75	55	60	57	69	76	77	73	77	81	80	843

昭和大学附属東病院（脳神経内科）

月	2022/4	2022/5	2022/6	2022/7	2022/8	2022/9	2022/10	2022/11	2022/12	2023/1	2023/2	2023/3	合計
初診	151	131	156	126	102	115	133	123	102	138	110	111	1,498
再診	993	897	1,026	963	1,039	945	1,038	942	931	935	903	954	11,566
合計	1,144	1,028	1,182	1,089	1,141	1,060	1,171	1,065	1,033	1,073	1,013	1,065	13,064

（年度）

(2) 病棟より

この度、2023 年 1 月から病棟医長を拝命いたしました。病棟医長として病棟の運営や安全の確保に努めるとともに、病棟医がやり甲斐を持って楽しく働けるような環境作りに尽力したいと思います。

昭和大学病院の脳神経内科の特色の一つは、脳卒中やてんかん、神経感染症のような急性期疾患から認知症、変性疾患、筋・末梢神経疾患に至るまで幅広く診療している点にあります。近年、脳神経内科の分野も診療の細分化が進む中、我々は「脳神経のジェネラリスト」を目指し、日々精進しております。診療が浅くならないように、症例カンファランスを行い、個々の得意分野の知識を共有して、全員で診断や治療方針の確認を行うよう努めています。また、教授回診も部分的ではありますが再開され、医局員や学生に現場での神経診察に直接触れる機会が徐々に戻りつつあります。

このコロナ禍において、東病院の 2 階、6 階がコロナ専用病棟としての運用を余儀なくされ、脳神経内科としての専従病棟がない期間が続いておりました。新型コロナウイルスの蔓延から 3 年が経ち徐々に終息には向かっているとはいえ、今年度も外来や脳卒中含む救急の受け入れを制限をせざるを得ない状況があり、近隣の医療機関の先生方には多大なご迷惑をおかけいたしました。しかし、昨今の感染状況から東病院 2 階病棟も脳神経内科専従病棟に戻り、6 階病棟も通常運用に戻っております。また、本院入院棟 2 階（旧 CCU）がリニューアルし、ストロークユニットとしての機能も兼ね備えた ICU として脳卒中患者の受け入れが開始されております。

このような背景もあり昨年 12 月より病棟班も再編成を行いました。全ての班が脳卒中を含む神経救急疾患から慢性期疾患までを満遍なく診療を行えるよう、そして患者一人一人の病態に対してより深く診療できるよう、「全ての班が全ての神経疾患の診療を行う班体制」へと戻し、班長も一新しフレッシュな 4 班体制になりました。さらに、今後の学術的な発展を目指し、各専門領域を持った指導医による班を横断した研究体制の構築が開始されました。今年 5 月には新型コロナウイルスも 5 類感染症へ移行されます。院内では依然マスクの着用は必須となりますが、徐々にアフターコロナの体制となってきます。私個人としては、専門の脳卒中領域においてアフターコロナの脳卒中診療体制の再構築、超急性期～慢性期における脳神経外科や循環器内科とのブレインハートチームのさらなる発展を目指してまいります。

最後になりますが、昨今の状況下でも当院からの転院を快く受け入れてくださったリハビリテーション病院や療養型病院・施設の先生およびスタッフの皆様、当院からの継続加療を快く受け入れてくださった地域のクリニックや訪問診療を担う先生方、そして院内で診療を支えてくださったコメディカルの方々にはこの場を借りて脳神経内科一同、御礼を申し上げます。

病棟医長 水間啓太

2021 年度 病棟（入院患者）

疾患内訳	症例数	疾患内訳	症例数	人
血管障害・外傷		筋・神経筋接合部疾患		
脳梗塞	207	重症筋無力症	13	
脳静脈洞血栓症	3	多発性筋炎	4	
一過性脳虚血発作	2	横紋筋融解症	2	
可逆性後部白質脳症	2	ミトコンドリア病	2	
脳出血	1	筋強直性ジストロフィー	1	
経静脈孔症候群	1			
一過性全健忘	1	運動ニューロン疾患		
可逆性脳血管攣縮症候群	1	筋萎縮性側索硬化症	3	
脳アミロイド血管症	1	原発性側索硬化症	1	
外傷性くも膜下出血	1	球脊髄性筋萎縮症	1	
		その他の運動ニューロン疾患	1	
認知症				
正常圧水頭症	18	発作性・機能的疾患		
レヴィー小体型認知症	11	てんかん	102	
アルツハイマー病	7	片頭痛	3	
血管性認知症	1	脳脊髄液減少症	2	
その他の認知症	1	群発頭痛	1	
神経変性疾患		腫瘍性疾患		
パーキンソン病	44	脳腫瘍	2	
パーキンソン症候群	14	脊髄腫瘍	1	
脊髄小脳変性症	5			
多系統萎縮症	4	脊椎疾患		
進行性核上性麻痺	4	腰椎症・腰部脊柱管狭窄症	1	
白質ジストロフィー	2			
大脳皮質基底核変性症	1	内科関連疾患・耳鼻科関連疾患		
ハンチントン病	1	市中肺炎・誤嚥性肺炎	6	
		電解質異常	6	
神経感染症		尿路感染症	5	
ウイルス性髄膜炎・脳炎	14	末梢性めまい	5	
脳膿瘍	1	ウェルニッケ脳症	5	
細菌性髄膜炎	1	失神	4	
進行性多巣性白質脳症	1	脱水症	2	
		敗血症	1	
脱髄・炎症・肉芽腫性疾患		急性胆管炎	1	
多発性硬化症	11	バセドウ病眼症	1	
自己免疫性脳炎	9	神経サルコイドーシス	1	
視神経脊髄炎	12	破傷風	1	
トロサ・ハント症候群	4	汎発性帯状疱疹	1	
その他の脳症・脳炎	1	貧血	1	
その他の脊髄炎	6			
		その他の疾患		
末梢神経疾患		精神性疾患	3	
ギラン・バレー症候群	16	アルコール離脱せん妄	2	
多巣性運動ニューロパチー	6	薬剤性不随意運動	2	
末梢神経障害	4	レット症候群	2	
慢性炎症性脱髄性多発神経根炎	3	蘇生後脳症	1	
動眼神経麻痺	3	ミオクロヌス	1	
外転神経麻痺	2	脳梗塞後遺症	1	
ミラー・フィッシャー症候群	2	植込み型カテーテルポート閉塞	1	
アルコール性末梢神経障害	1	その他	3	
滑車神経麻痺	1			
腓骨神経麻痺	1			
視神経炎	1			
癌性ニューロパチー	1			
		合計	630	人

2022 年度 病棟（入院患者）

疾患内訳		疾患内訳		人
疾患内訳	症例数	疾患内訳	症例数	
血管障害・外傷		筋・神経筋接合部疾患		
脳梗塞	166	重症筋無力症	15	
一過性脳虚血発作	7	多発性筋炎	3	
一過性全健忘	6	筋強直性ジストロフィー	2	
トルソー症候群	2			
脳出血	1	運動ニューロン疾患		
脊髄梗塞	1	筋萎縮性側索硬化症	5	
脳静脈洞血栓症	1	若年性一側上肢筋萎縮症	1	
中大脳動脈狭窄症	1	球脊髄性筋萎縮症	1	
椎骨脳底動脈狭窄症	1	その他の運動ニューロン疾患	1	
脳動静脈奇形	1			
		発作性・機能性疾患		
認知症		てんかん	92	
正常圧水頭症	12	片頭痛	6	
アルツハイマー病	7			
レヴィー小体型認知症	4	腫瘍性疾患		
前頭側頭葉型認知症	3	悪性リンパ腫	1	
その他の認知症	3			
神経変性疾患		脊椎疾患		
パーキンソン病	50	頸椎症・頸部脊柱管狭窄症	2	
パーキンソン症候群	8	内科関連疾患・耳鼻科関連疾患		
多系統萎縮症	6	COVID-19 感染症	10	
脊髄小脳変性症	2	失神	4	
進行性核上性麻痺	1	神経サルコイドーシス	3	
ジストニア	1	ウェルニッケ脳症	3	
痙性対麻痺	1	末梢性めまい	3	
神経感染症		市中肺炎・誤嚥性肺炎	2	
ウィルス性髄膜炎・脳炎	26	電解質異常	2	
細菌性髄膜炎	2	起立性低血圧症	2	
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	肝性脳症	1	
神経梅毒	2	尿路感染症	1	
神経梅毒髄膜炎	1	脱水症	1	
脱髄・炎症・肉芽腫性疾患		バセドウ病	1	
多発性硬化症	10	高血糖高浸透圧症候群	1	
自己免疫性脳炎	7	全身性エリテマトーデス	1	
視神経脊髄炎	6	肺動脈血栓塞栓症	1	
トロサ・ハント症候群	3	肺胞出血	1	
急性散在性脳脊髄炎	2	高アンモニア血症	1	
その他の脊髄炎	2	貧血		
その他の脳症・脳炎	1	その他の疾患		
末梢神経疾患		薬物中毒	3	
ギラン・バレー症候群	8	精神性疾患	2	
慢性炎症性脱髄性多発神経根炎	8	レット症候群	2	
末梢神経障害	3	リチウム中毒	1	
多発脳神経炎	2	トリソミー 22	1	
癌性ニューロパチー	2	ミオクロヌス	1	
末梢神経障害性疼痛	2	その他	2	
シャルコー・マリー・トゥース病	1			
アルコール性末梢神経障害	1			
複合性局所疼痛症候群	1			
合計			555 人	

〔6〕 症例カンファレンス

日付	年齢	性別	題 名	診 断	担当医
2022年5月13日	44/57	M/M	辺縁系脳炎との鑑別を要した症候性てんかんの2症例	てんかん	黒田・森・久保田・石代・加藤・柿沼
2022年5月27日	77	F	帯状疱疹罹患後に抗AQP4抗体陽性の頸髄長大病変を認めた乳癌4期治療中の77歳女性	NMO	笠井・兼元・飯塚・門馬・三木・橋口・研)安斎・研)岡本
2022年6月10日	81	M	再発した心原性脳塞栓症の予防として、経皮的左心耳閉鎖術を選択した81歳男性例	心原性脳塞栓症	水間・渡辺大士・大橋・小室・浅野・中西・野勢・研)安斎・研)宮崎
2022年6月24日	62	M	悪性リンパ腫に対して全脳照射後に認知機能低下を来した1例	放射線照射後脳症	黒田・森・久保田・石代・加藤・柿沼
2022年7月8日	67	M	慢性経過で下肢痛覚・深部感覚障害が進行したアルコール多飲歴のあるMAG抗体陽性ニューロパチーの67歳男性例	MAG抗体陽性ニューロパチー	笠井・兼元・飯塚・門馬・三木・橋口・研)森・研)宮崎
2022年7月22日	13	M	経時的な画像変化で左静脈性視床梗塞を疑った13歳男児例	静脈性梗塞疑い	水間・渡辺大士・大橋・小室・浅野・中西
2022年8月12日	69	M	歯科治療による嫌気性菌の関与が疑われた、細菌性髄膜炎・硬膜下蓄膿の69歳男性例	細菌性髄膜炎・硬膜下蓄膿	黒田・森・久保田・石代・加藤・柿沼
2022年8月26日	22	F	疲労感・眼瞼下垂で発症し、抗LRP4抗体陽性であった重症筋無力症の22歳女性	重症筋無力症	笠井・兼元・飯塚・門馬・三木・石田・研)北尾
2022年9月9日	74	M	心房細動に対するアブレーション後の抗凝固薬を内服中に脳塞栓症を発症し脂肪肉腫疑いを認めた74歳男性	脳塞栓症；ESUS or トルソー症候群	水間・渡辺大士・大橋・小室・浅野・中西・橋口
2022年10月14日	48	M	認知症機能低下および前頭葉障害で発症した家族歴がない脊髄小脳変性症(SCA17)の48歳男性	脊髄小脳変性症	黒田・森・久保田・石代・加藤・柿沼
2022年10月28日	55	M	多発脳神経症状を呈した神経サルコイドーシスの56歳男性例	神経サルコイドーシス	笠井・兼元・飯塚・門馬・大橋・浅野・中西・研)宮田・研)井上
2022年11月11日	58	M	初療時に皮質静脈血栓症との鑑別を要した、脳動脈奇形の58歳男性例	脳動脈奇形	水間・渡辺大士・野原・石代・加藤・柿沼
2022年12月9日	78	M	急性～亜急性に進行したHTLV-1関連脊髄症の1例	HTLV-1関連脊髄症	黒田・森・久保田・小室・イズデプスキ・石田・野勢
2023年1月13日	68	M	悪性リンパ腫との診断に難渋した自己免疫性脳炎の68歳男性例	自己免疫性脳炎	笠井・兼元・飯塚・門馬・大橋・浅野・中西
2023年2月10日	93	F	錐体斜台部の腫瘍性病変による延髄圧排でAstasia-Abasiaを呈した93再女性例	脳腫瘍疑い	森・門馬・イズデプスキ・野勢・研)大島
2023年2月24日	79	M	COVID-19後に抗GM1抗体陽性のGuillain-Barré症候群をきたし重症型の起立直後性低血圧を呈した79歳男性例	COVID-19、Guillain-Barré症候群	飯塚・久保田・大橋・橋口・研)齊藤・研)塩見
2023年3月10日	73	F	認知機能低下に筋萎縮性側索硬化症を続発し、後方視的にright temporal variant FTD-MNDが疑われた例	FTD-MND	渡辺大士・三木・浅野・柿沼・研)近藤

[7] 教育活動

(1) 講義

昭和大学の各学部および看護専門学校の学生に以下の通り講義を行った。

2021 年度

医学部 2 年 神経系（基礎医学統合カリキュラム）

日付	学習内容	担当
2021 年 5 月 12 日	神経系（基礎医学統合カリキュラム）	稗田 宗太郎
2021 年 5 月 12 日	神経系（基礎医学統合カリキュラム）	矢野 怜
2021 年 5 月 13 日	神経系（基礎医学統合カリキュラム）	稗田 宗太郎

医学部 3 年 症候学 I

日付	学習内容	担当
2021 年 4 月 1 日	痙攣・意識障害・失神	兼元 みずき

医学部 3 年 系統講義

日付	学習内容	担当
2021 年 9 月 24 日	脊髄疾患総論：分類、症状、検査など	栗城 綾子
2021 年 9 月 27 日	認知症：アルツハイマー型認知症など	小野 賢二郎
2021 年 9 月 27 日	パーキンソン病とその類縁疾患	小野 賢二郎
2021 年 9 月 28 日	脊髄疾患各論（各種脊髄疾患）	杉本 あずさ
2021 年 9 月 28 日	末梢神経疾患（1）：総論、各論（編成・遺伝性疾患）	市川 博雄
2021 年 9 月 28 日	末梢神経疾患（2）：各論（脱髄、中毒・代謝、その他）	市川 博雄
2021 年 9 月 29 日	脊髄小脳変性症：臨床病型・症状など	矢野 怜
2021 年 9 月 29 日	中枢神経感染症：髄膜炎・脳炎・脳膿瘍など	杉本 あずさ
2021 年 9 月 30 日	ミオパチー：多発筋炎、筋ジストロフィー、重症筋無力症、周期性四肢麻痺など	黒田 岳志
2021 年 9 月 30 日	頭痛：1 次性頭痛と 2 次性頭痛	笠井 英世
2021 年 11 月 2 日	てんかんと類縁疾患	二村 明德
2021 年 11 月 19 日	高次脳機能障害：大脳皮質症状概論	二村 明德

医学部 4 年 医学英語

日付	学習内容	担当
WEB 講義	医学英語演習	杉本 あずさ

医学部 4 年 CBT 特別講義

日付	学習内容	担当
WEB 講義	CBT 対策特別講義	稗田 宗太郎

医学部 4 年 診察技法実習

日付	学習内容	担当
2021 年 5 月 11 日	神経系（四肢・末梢）診察	飯塚 奈都子
2021 年 5 月 18 日	神経系（四肢・末梢）診察	三木 綾子
2021 年 5 月 25 日	神経系（四肢・末梢）診察	稗田 宗太郎
2021 年 6 月 1 日	神経系（四肢・末梢）診察	稗田 宗太郎
2021 年 6 月 8 日	神経系（四肢・末梢）診察	二村 明德
2021 年 6 月 22 日	神経系（四肢・末梢）診察	二村 明德

医学部 4 年 症候学Ⅱ

日付	学習内容	担当
WEB 講義	意識障害、けいれん	黒田 岳志
WEB 講義	聴力障害、めまい、耳鳴	栗城 綾子
WEB 講義	視力障害、視野障害、眼球運動障害	稗田 宗太郎

医学部 5 年 症候学Ⅲ

日付	学習内容	担当
WEB 講義	構音障害、失語	矢野 怜
WEB 講義	頭痛、頭重感	笠井 英世
WEB 講義	感覚障害	二村 明德
WEB 講義	嚥下障害、誤嚥	黒田 岳志
WEB 講義	歩行障害、不随意運動、胸背部痛、筋肉痛	大湾 喜行
WEB 講義	運動麻痺、運動失調、筋力低下	稗田 宗太郎
WEB 講義	悪心、嘔吐、胸焼け、腹部膨満	大中 洋平
WEB 講義	排尿障害	森 友紀子
WEB 講義	思考障害（妄想・脅迫）、記憶障害、幻覚、食欲不振	稗田 宗太郎
WEB 講義	抑うつ、躁状態、不安、恐怖、睡眠障害	杉本 あずさ

医学部 6 年 集中講義

日付	学習内容	担当
WEB 講義	神経内科（総論・各論）	稗田 宗太郎
WEB 講義	神経内科（総論・各論）	稗田 宗太郎
WEB 講義	神経内科（総論・各論）	笠井 英世

歯学部 3 年 ヒトの病気

日付	学習内容	担当
WEB 講義	神経筋疾患・麻痺・認知症・脳血管障害	矢野 怜
WEB 講義	頭頸部痛・頭痛・髄膜炎・脳炎	稗田 宗太郎

歯学部 4 年 高齢者歯科

日付	学習内容	担当
WEB 講義	神経内科・脳血管障害	稗田 宗太郎
WEB 講義	神経内科・脳変性疾患	稗田 宗太郎
WEB 講義	神経内科・認知症	矢野 怜

薬学部 3 年 薬と疾病

日付	学習内容	担当
WEB 講義	認知症	稗田 宗太郎
WEB 講義	脳血管疾患	水間 啓太
WEB 講義	パーキンソン病とその関連疾患	稗田 宗太郎
WEB 講義	神経・筋疾患の症候と代表的な筋疾患	稗田 宗太郎
WEB 講義	てんかん	稗田 宗太郎
WEB 講義	脳腫瘍、脳炎、プリオン病など	稗田 宗太郎

保健医療学部 理学・作業療法学科 2 年生 臨床医学神経内科

日付	学習内容	担当
WEB 講義	脳神経疾患総論	市川 博雄
WEB 講義	神経症候の診かた	市川 博雄
WEB 講義	脳血管障害 総論・各論	神谷 雄己
WEB 講義	高次脳機能障害	金野 竜太
WEB 講義	末梢神経疾患 総論・各論	矢野 怜
WEB 講義	筋疾患・神経筋接合部疾患	金野 竜太
WEB 講義	変性疾患（PD,PD 類縁疾患・ALS・認知症）	稗田 宗太郎
WEB 講義	脊髄疾患総論 総論・各論	馬場 康彦
WEB 講義	発作性疾患（頭痛・めまい・てんかん）、脳腫瘍	馬場 康彦
WEB 講義	中毒・代謝性疾患	矢野 怜
WEB 講義	感染性・伝染性疾患・炎症性・自己免疫性疾患	稗田 宗太郎

看護専門学校 臨床医学

日付	学習内容	担当
WEB 講義	脳神経内科	石垣 征一郎
WEB 講義	脳神経内科 2	石垣 征一郎
WEB 講義	脳神経内科 3	石垣 征一郎

認定看護師 認知症

日付	学習内容	担当
2021 年 11 月 26 日	脳神経内科	市川 博雄
2021 年 12 月 10 日	脳神経内科 2	稗田 宗太郎

2022 年度

医学部 2 年 神経系（基礎医学統合カリキュラム）

日付	学習内容	担当
2022 年 5 月 11 日	神経系（基礎医学統合カリキュラム）	稗田 宗太郎
2022 年 5 月 11 日	神経系（基礎医学統合カリキュラム）	稗田 宗太郎
2022 年 5 月 13 日	神経系（基礎医学統合カリキュラム）	矢野 怜

医学部 3 年 神経系の病態・診断・治療

日付	学習内容	担当
オンデマンド	パーキンソン病とその類縁疾患	小野 賢二郎
オンデマンド	脊髄小脳変性症：臨床病型・症状など	矢野 怜
オンデマンド	認知症：アルツハイマー型認知症など	小野 賢二郎
オンデマンド	脊髄疾患総論：分類、症状、検査など	栗城 綾子
オンデマンド	脊髄疾患各論（各種脊髄疾患）	杉本 あずさ
オンデマンド	ミオパチー：多発筋炎、筋ジストロフィー、重症筋無力症、周期性四肢麻痺など	黒田 岳志
オンデマンド	神経筋接合部疾患（重症筋無力症、Lambert-Eaton 症候群など）	黒田 岳志
オンデマンド	末梢神経疾患（1）：総論、各論（編成・遺伝性疾患）	市川 博雄
オンデマンド	末梢神経疾患（2）：各論（脱髄、中毒・代謝、その他）	市川 博雄
オンデマンド	中枢神経感染症：髄膜炎・脳炎・脳膿瘍など	杉本 あずさ
オンデマンド	頭痛：1 次性頭痛と 2 次性頭痛	笠井 英世

医学部3年 アドバンスド講義

日付	学習内容	担当
2022年7月4日	オリエンテーション・PBL 班分け	稗田 宗太郎
2022年7月7日	【脳卒中】血栓溶解・左心耳閉鎖	水間 啓太
2022年7月8日	【認知症】認知症の基礎	稗田 宗太郎
2022年7月8日	【認知症】ADの病態生理と最新医療	小野 賢二郎
2022年7月8日	【神経難病】PD治療の最先端	村上 秀友
2022年7月8日	【神経難病】多発性硬化症・NMOの新しい免疫治療	黒田 岳志
2022年7月14日	【特殊な神経診察】高次脳機能を評価する	二村 明德
2022年7月14日	神経系疾患の診断に用いる検査を理解する	金野 竜太

医学部3年 PBL チューター、PBL 発表会

日付	学習内容	担当
メール対応	PBL チューター (PD)	稗田 宗太郎
メール対応	PBL チューター (ALS)	矢野 怜
メール対応	PBL チューター (MS)	笠井 英世
メール対応	PBL チューター (MG)	黒田 岳志
メール対応	PBL チューター (SCD)	金野 竜太
メール対応	PBL チューター (AD)	二村 明德
2022年7月15日	PBL 発表司会・ファシリテーター	稗田 宗太郎
2022年7月15日	PBL 発表司会・ファシリテーター	黒田 岳志
2022年7月15日	PBL 発表司会・ファシリテーター	笠井 英世
2022年7月15日	PBL 発表司会・ファシリテーター	二村 明德

医学部3年 診察技法実習

日付	学習内容	担当
2022年7月6日	診察技法実習	大橋 英朗
2022年7月6日	診察技法実習	小室 浩康
2022年7月6日	診察技法実習	三木 綾子
2022年7月6日	診察技法実習	矢野 怜
2022年7月6日	診察技法実習	兼元 みずき
2022年7月6日	診察技法実習	久保田 怜美

医学部4年 医学英語

日付	学習内容	担当
オンデマンド	医学英語	金野 竜太

医学部4年 CBT 特別講義

日付	学習内容	担当
オンデマンド	CBT 対策特別講義	稗田 宗太郎

医学部4年 診察技法実習

日付	学習内容	担当
2021年5月10日	神経系（四肢・末梢）診察	飯塚 奈都子
2021年5月17日	神経系（四肢・末梢）診察	久保田 怜美
2021年5月24日	神経系（四肢・末梢）診察	大橋 英朗
2021年5月31日	神経系（四肢・末梢）診察	飯塚 奈都子
2021年6月14日	神経系（四肢・末梢）診察	久保田 怜美
2021年6月21日	神経系（四肢・末梢）診察	大橋 英朗

医学部 4 年 症候学Ⅱ

日付	学習内容	担当
オンデマンド	意識障害、けいれん	黒田 岳志
オンデマンド	聴力障害、めまい、耳鳴	栗城 綾子
オンデマンド	視力障害、視野障害、眼球運動障害	稗田 宗太郎

医学部 5 年 症候学Ⅲ

日付	学習内容	担当
オンデマンド	構音障害、失語	矢野 怜
オンデマンド	頭痛、頭重感	笠井 英世
オンデマンド	感覚障害	二村 明德
オンデマンド	嚥下障害、誤嚥	黒田 岳志
オンデマンド	歩行障害、不随意運動、胸背部痛、筋肉痛	大湾 喜行
オンデマンド	運動麻痺、運動失調、筋力低下	稗田 宗太郎
オンデマンド	悪心、嘔吐、胸焼け、腹部膨満	大中 洋平
オンデマンド	排尿障害	森 友紀子
オンデマンド	思考障害（妄想・脅迫）、記憶障害、幻覚、食欲不振	稗田 宗太郎
オンデマンド	抑うつ、躁状態、不安、恐怖、睡眠障害	二村 明德

医学部 6 年 集中講義

日付	学習内容	担当
オンデマンド	神経内科（総論・各論）	稗田 宗太郎
オンデマンド	神経内科（総論・各論）	稗田 宗太郎
オンデマンド	神経内科（総論・各論）	笠井 英世

歯学部 3 年 ヒトの病気

日付	学習内容	担当
2022 年 4 月 27 日	神経筋疾患・麻痺・認知症・脳血管障害	矢野 怜
オンデマンド	頭頸部痛・頭痛・髄膜炎・脳炎	稗田 宗太郎

歯学部 4 年 高齢者歯科

日付	学習内容	担当
オンデマンド	神経内科・脳血管障害	稗田 宗太郎
オンデマンド	神経内科・脳変性疾患	稗田 宗太郎
オンデマンド	神経内科・認知症	矢野 怜

薬学部 3 年 薬と疾病

日付	学習内容	担当
オンデマンド	認知症	稗田 宗太郎
オンデマンド	脳血管疾患	水間 啓太
オンデマンド	パーキンソン病とその関連疾患	稗田 宗太郎
オンデマンド	神経・筋疾患の症候と代表的な筋疾患	稗田 宗太郎
オンデマンド	てんかん	稗田 宗太郎
オンデマンド	脳腫瘍、脳炎、プリオン病など	稗田 宗太郎

保健医療学部 理学・作業療法学科 2 年生 臨床医学神経内科

日付	学習内容	担当
オンデマンド	脳神経疾患総論	市川 博雄
オンデマンド	神経症候の診かた	市川 博雄
オンデマンド	脳血管障害 総論・各論	栗城 綾子
オンデマンド	高次脳機能障害	金野 竜太
オンデマンド	末梢神経疾患 総論・各論	矢野 怜
オンデマンド	筋疾患・神経筋接合部疾患	金野 竜太
オンデマンド	変性疾患（PD,PD 類縁疾患・ALS・認知症）	稗田 宗太郎
オンデマンド	脊髄疾患総論 総論・各論	馬場 康彦
オンデマンド	発作性疾患（頭痛・めまい・てんかん）、脳腫瘍	馬場 康彦
オンデマンド	中毒・代謝性疾患	矢野 怜
オンデマンド	感染性・伝染性疾患・炎症性・自己免疫性疾患	稗田 宗太郎

看護専門学校 臨床医学

日付	学習内容	担当
オンデマンド	脳神経内科	矢野 怜
オンデマンド	脳神経内科 2	矢野 怜
オンデマンド	脳神経内科 3	矢野 怜

認定看護師 認知症

日付	学習内容	担当
2022 年 12 月 9 日	認知症の症状	市川 博雄
2022 年 12 月 6 日	認知症の診断と検査、治療（臨床薬理、適応と使用方法、有害事象とその対応、薬剤のモニタリングを含む）	稗田 宗太郎

(2) 臨床実習

系統講義、共用試験 OSCE に合格して進級してきた学生に臨床実習が開始されるが、当科においても医学部 4 年の臨床実習（1 週ずつ系統的に全科を回る）を受け入れ、学生指導を行った。

(3) 診療参加型臨床実習

系統的な臨床実習を終了し、その後の総合試験に合格した学生が診療参加型臨床実習（3～4 週間を 1 タームとして希望した科を回る）を行った。本実習は医療スタッフの一員として各科に配属され、教室員と学生のコミュニケーションも濃厚となるなど、学生にとっても有意義な実習期間である。

[8] 業 績

(1) 受 賞

黒田岳志, 本間元康, 森 友紀子, 二村明德, 笠井英世, 矢野 怜, 稗田宗太郎, 小野賢二郎, 村上秀友。認知症早期において大脳白質病変と脳血流が認知機能に与える影響についての検討。第 11 回日本認知症予防学会学術集会, 福岡, 浦上賞, 2022.9.23-25.

Futamura A, Hieda S, Mori Y, Kasuga K, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Tsuji M, Ikeuchi T, Irie K, Ono K. Toxic amyloid β 42 conformer may accelerate the onset of Alzheimer's disease in the preclinical stage. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 優秀ポスター賞, 2022.5.18-21

(2) 論文・著書

(A) 原著論文

a. 英文

Amano R, Tsukada S, Kosuge S, Yano S, Ono K, Yoneda M, Taki K. Case Report: Paraneoplastic Hashimoto's Encephalopathy Associated With Lymphomatosis Cerebri With Periodic Synchronous Discharges Resembling Creutzfeldt-Jakob Disease. *Front Neurol* 2021;12:701178

Ibrahim NF, Hamezah HS, Yanagisawa D, Tsuji M, Kiuchi Y, Ono K, Tooyama I. The effect of α -tocopherol, α - and γ -tocotrienols on amyloid- β aggregation and disaggregation in vitro. *Biochem. Biophys Rep* 2021;28:101131

Iizuka N, Masaoka Y, Kubota S, Sugiyama H, Yoshida M, Yoshikawa A, Koiwa N, Honma M, Watanabe K, Kamiyo S, Kamimura S, Ida M, Ono K, Izumizaki M. Entorhinal cortex and parahippocampus volume reductions impact olfactory decline in aged subjects. *Brain Behav* 2021;11:e 021152021

Ikeuchi T, Yano Y, Sato W, Morikawa F, Toru S, Nishimura C, Miyazawa N, Kuroha Y, Koike R, Tanaka S, Utsumi K, Kasuga K, Tokutake T, Ono K, Yano S, Naruse S, Yajima S, Hamano T, Yokoyama Y, Kitamura A, Kaneko E, Yamakado M, Nagao K. Development of a Novel Nutrition-Related Multivariate Biomarker for Mild Cognitive Impairment Based on the Plasma Free Amino Acid Profile. *Nutrients* 2022;14:637

Ohashi H, Tsuji M, Oguchi T, Momma Y, Nohara T, Ito N, Yamamoto K, Nagata M, Kimura M, Kiuchi Y, Ono K. Combined Treatment with Curcumin and Ferulic Acid Suppressed the A β -Induced Neurotoxicity More than Curcumin and Ferulic Acid Alone. *Int J Mol Sci* 2022;23:9685

Kakinuma M, Ouma S, Kawakatsu S, Iritani O, Yamashita K, Ohara T, Hirano S, Suda S, Hamano T, Hieda S, Yasui M, Yoshiiwa A, Shiota S, Hironishi M, Wada-Isoe K, Sasabayashi D, Yamasaki S, Murata M, Funakoshi K, Hayashi K, Shirafuji N, Sasaki H, Kajimoto Y, Mori Y, Suzuki M, Ito H, Ono K, Tsuboi Y. An Exploratory, open-label, randomized, multicenter trial of hachimijiogan for mild Alzheimer's disease. *Front Pharmacol* 2022;13:991982

Kikuno M, Ueno Y, Takekawa H, Kanemaru K, Shimizu T, Kuriki A, Tateishi Y, Doijiri R, Shimada Y, Yamaguchi E, Koga M, Kamiya Y, Ihara M, Tsujino A, Hirata K, Hasegawa Y, Aizawa H, Hattori N, Urabe T; CHALLENGE ESUS/CS Collaborators. Distinction in Prevalence of Atherosclerotic Embolic Sources in Cryptogenic Stroke With Cancer Status. *J Am Heart Assoc* 2021;10:e 021375

Kimura A, Tsuji M, Yasumoto T, Mori Y, Oguchi T, Tsuji Y, Umino M, Umino A, Nishikawa T, Nakamura S, Inoue T, Yamada M, DB Teplow, Kiuchi Y, Ono K. Myricetin prevents high molecular weight A β 1–42 oligomer-induced neurotoxicity through antioxidant effects in cell membranes and mitochondria. *Free Radic Biol Med* 2021;171:232–244

Kuriki A, Ueno Y, Kamiya Y, Shimizu T, Doijiri R, Tateishi Y, Kikuno M, Shimada Y, Takekawa H, Yamaguchi E, Koga M, Ihara M, Ono K, Tsujino A, Hirata K, Toyoda K, Hasegawa Y, Hattori N, Urabe T. Atrial Septal Aneurysm may Cause In-Hospital Recurrence of Cryptogenic Stroke. *J Atheroscler Thromb* 2021;28:514–523

Kuroda T, Honma M, Mori Y, Futamura A, Sugimoto A, Kasai H, Yano S, Hieda S, Kasuga K, Ikeuchi T, Ono K. White Matter Lesions May Aid in Differentiating Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Alzheimer's Disease. *J Alzheimers Dis* 2022;85:851–862

Kuroda T, Ono K, Honma M, Asano M, Mori Y, Futamura A, Yano S, Kanemoto M, Hieda S, Baba Y, Izumizaki M, Murakami H. Cerebral white matter lesions and regional blood flow are associated with reduced cognitive function in early-stage cognitive impairment. *Front Aging Neurosci* 2023;15:1126618

Kokudai Y, Honma M, Masaoka Y, Yoshida M, Sugiyama H, Yoshikawa A, Koiwa N, Kubota S, Iizuka N, Wada S, Kamijo S, Yuki U, Yano S, Ida M, Ono K, Izumizaki M. Cascade process mediated by left hippocampus and left superior frontal gyrus affects relationship between aging and cognitive dysfunction. *BMC Neurosci* 2021;22:75

Shigeta K, Suzuki K, Matsumaru Y, Takeuchi M, Morimoto M, Kanazawa R, Takayama Y, Kamiya Y, Okubo S, Hayakawa M, Ishii N, Koguchi Y, Ota T, Takigawa T, Inoue M, Naito H, Hirano T, Kato N, Ueda T, Akaji K, Iguchi Y, Miki K, Tsuruta W, Fujimoto S, Enomoto M, Aoyama J, Nakano T, Kimura K; SKIP study group. Intravenous Alteplase is Associated with First Pass Effect in Stent-retriever but not ADAPT Thrombectomy: Post Hoc Analysis of the SKIP Study. *Clin Neuroradiol* 2022;32:153–162

Suzuki K, Matsumaru Y, Takeuchi M, Morimoto M, Kanazawa R, Takayama Y, Kamiya Y, Shigeta K, Okubo S, Hayakawa M, Ishii N, Koguchi Y, Takigawa T, Inoue M, Naito H, Ota T, Hirano T, Kato N, Ueda T, Iguchi Y, Akaji K, Tsuruta W, Miki K, Fujimoto S, Higashida T, Iwasaki M, Aoki J, Nishiyama Y, Otsuka T, Kimura K; SKIP Study Investigators. Effect of Mechanical Thrombectomy Without vs With Intravenous Thrombolysis on Functional Outcome Among Patients With Acute Ischemic Stroke: The SKIP Randomized Clinical Trial. *JAMA* 2021;325:244–253

Senda M, Ishii K, Ito K, Ikeuchi T, Matsuda H, Iwatsubo T, Iwata A, Ihara R, Suzuki K, Kasuga K, Ikari Y, Niimi Y, Arai H, Tamaoka A, Arahata Y, Itoh Y, Tachibana H, Ichimiya Y, Washizuka S, Odawara T, Ishii K, Ono K, Yokota T, Nakanishi A, Matsubara E, Mori H, Shimada H. A Japanese Multicenter Study on PET and Other Biomarkers for Subjects with Potential Preclinical and Prodromal Alzheimer's Disease. *J Prev Alzheimer's Dis* 2021;8:495–502

Tateishi Y, Ueno Y, Tsujino A, Kuriki A, Kamiya Y, Shimizu T, Doijiri R, Yamaguchi E, Kikuno M, Shimada Y, Takekawa H, Koga M, Ihara M, Hirata K, Hasegawa Y, Toyoda K, Hattori N, Urabe T; CHALLENGE ESUS/CS collaborators. Cardiac and Echocardiographic Markers in Cryptogenic Stroke with Incidental Patent Foramen Ovale. *J Stroke Cerebrovasc Dis* 2021;30:105892

Tokuda K, Yamada Y, Uchida K, Sakakibara F, Sakai N, Imamura H, Yamagami H, Tanaka K, Ezura M, Nonaka T, Matsumoto Y, Shibata M, Ohta H, Morimoto M, Fukawa N, Hatano T, Enomoto Y, Takeuchi M, Ota T, Shimizu F, Kimura N, Kamiya Y, Shimamura N, Morimoto T, Yoshimura S. Effect of prior antiplatelet therapy on large vessel occlusion in patients with non-valvular atrial fibrillation newly initiated on apixaban. *J Neurol Sci* 2021;428:117603

Doijiri R, Ueno Y, Kikuno M, Shimizu T, Tateishi Y, Kuriki A, Takekawa H, Shimada Y, Kanemaru K, Kamiya Y, Yamaguchi E, Koga M, Ihara M, Tsujino A, Hirata K, Hasegawa Y, Kikuchi T, Hattori N, Urabe T. Different aspects of early and late development of atrial fibrillation during hospitalization in cryptogenic stroke. *Sci Rep* 2021;29:7127

Hanada K, Yokoi K, Futamura A, Kinoshita Y, Sakamoto K, Ono K, Hirayama K. Numbsense of shape, texture, and objects after left parietal infarction: A case report. *J Neuropsychol* 2021;15:204–214

Hanazuka Y, Futamura A, Hirata S, Midorikawa A, Ono K, Kawamura M. The Eyes Are More Eloquent Than Words: Anticipatory Looking as an Index of Event Memory in Alzheimer's Disease. *Front Neurol* 2021;12:642464

Hamaguchi T, Kim JH, Hasegawa A, Goto R, Sakai K, Ono K, Itoh Y, Yamada M. Exogenous A β seeds induce A β depositions in the blood vessels rather than the brain parenchyma, independently of A β strain-specific information. *Acta Neuropathol Commun* 2021;9:151

Baba Y, Futamura A, Kinno R, Nomoto S, Takahashi S, Yasumoto T, Osakabe Y, Shoji D, Nabeshima Y. The relationship between the distinct ratios of benserazide and carbidopa to levodopa and motor complications in Parkinson's disease: A retrospective cohort study. *J Neurol Sci* 2022;437:120263

Futamura A, Hieda S, Mori Y, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Kasuga K, Murakami H, Ikeuchi T, Ono K. Cingulate Island Sign in Single Photon Emission Computed Tomography: Clinical Biomarker Correlations in Lewy Body Disease and Alzheimer's Disease. *J Alzheimers Dis* 2021;79:1003–1008

Futamura A, Hieda S, Mori Y, Kasuga K, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Tsuji M, Ikeuchi T, Irie K, Ono K. Toxic Amyloid- β 42 Conformer May Accelerate the Onset of Alzheimer's Disease in the Preclinical Stage. ***J Alzheimers Dis*** 2021; 80:639–646

Honma M, Murakami H, Yabe Y, Kuroda T, Futamura A, Sugimoto A, Terao Y, Masaoka Y, Izumizaki M, Kawamura M, Ono K. Stopwatch training improves cognitive functions in patients with Parkinson's disease. ***J Neurosci Res*** 2021;99:1325–1336

Masaoka Y, Sugiyama H, Yoshida M, Yoshikawa A, Honma M, Koiwa N, Kamijo S, Watanabe K, Kubota S, Iizuka N, Ida M, Ono K, Izumizaki M. Odors Associated With Autobiographical Memory Induce Visual Imagination of Emotional Scenes as Well as Orbitofrontal–Fusiform Activation. ***Front Neurosci*** 2021;15:709050

Miki A, Kinno R, Ochiai H, Kubota S, Mori Y, Futamura A, Sugimoto A, Kuroda T, Kasai H, Yano S, Hieda S, Kokaze A, Ono K. Sex Differences in the Relationship of Serum Vitamin B 1 and B 12 to Dementia Among Memory Clinic Outpatients in Japan. ***Front Aging Neurosci*** 2021;13:667215

Mori Y, Tsuji M, Oguchi T, Kasuga K, Kimura A, Futamura A, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Hieda S, Kiuchi Y, Ikeuchi T, Ono K. Serum BDNF as a Potential Biomarker of Alzheimer's Disease: Verification Through Assessment of Serum, Cerebrospinal Fluid, and Medial Temporal Lobe Atrophy. ***Front Neurol*** 2021;12:653267

Momma Y, Tsuji M, Oguchi T, Ohashi H, Nohara T, Ito N, Yamamoto K, Nagata M, Kimura A., Nakamura S, Kiuchi Y, Ono K. The Curcumin Derivative GT 863 Protects Cell Membranes in Cytotoxicity by A β Oligomers. ***Int J Mol Sci*** 2023;24:3089

Yoshimura S, Uchida K, Sakai N, Imamura H, Yamagami H, Tanaka K, Ezura M, Nonaka T, Matsumoto Y, Shibata M, Ohta H, Morimoto M, Fukawa N, Hatano T, Enomoto Y, Takeuchi M, Ota T, Shimizu F, Kimura N, Kamiya Y, Shimamura N, Morimoto T. Safety of Early Administration of Apixaban on Clinical Outcomes in Patients with Acute Large Vessel Occlusion. ***Transl Stroke Res*** 2021;12:266–274

Watanabe Y, Ogino M, Ichikawa H, Hanajima R, Nakashima K. The Edinburgh Cognitive and Behavioural ALS Screen (ECAS) for Japanese ALS and FTD patients. ***Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener*** 2021;22:66–72

Wada S, Honma M, Masaoka Y, Yoshida M, Koiwa N, Sugiyama H, Iizuka N, Kubota S, Kokudai Y, Yoshikawa A, Kamijo S, Kamimura S, Ida M, Ono K, Onda H, Izumizaki M. Volume of the right supramarginal gyrus is associated with a maintenance of emotion recognition ability. ***PLoS One*** 2021;16:e 0254623

b. 和文

馬場康彦, 鍋島陽子, 安本太郎, 高橋聖也, 二村明徳, 金野竜太. 進行期パーキンソン病の運動症状と疼痛に対するサフィナミドメシル酸塩の効果.

Geriatric Medicine 2022;60:435-440

(B) 総説論文

a. 英文

Kinno R, Ono K. Takotsubo Syndrome: Optimizing Care with a Multidisciplinary Approach. *J Multidiscip Healthc* 2021;14: 2487-2499

Murakami H, Ono K, Shiraishi T, Umehara T, Omoto S, Iguchi Y. Correlations of cognitive domains with cerebrospinal fluid α -synuclein levels in patients with Parkinson's disease. *Front Aging Neurosci* 2021;12:616357

b. 和文

井藤尚仁, 小野賢二郎. α -シヌクレイン研究の最前線. *脳神経内科* 2022;96:678-685

小野賢二郎. アルツハイマー病の病態と治療戦略を考える. *老年期認知症研究会誌* 2021;23:41-42

小野賢二郎. 糖尿病と認知症. *糖尿病合併症* 2021;35:231-234

小野賢二郎. 抗 $A\beta$ 療法の現状と展望. *神経治療学* 2021;38:146

小野賢二郎. 神経変性疾患の動物モデルの実験的治療: 腸内微生物叢由来フェノール化合物の α -シヌクレイン凝集抑制効果. *神経治療学* 2021;38:575-578

小野賢二郎. 認知症診療の現状と将来展望: $A\beta$ を中心とするアプローチ. *神経治療学* 2021;38:343-346

兼元みずき, 藤元流八郎, 小野賢二郎. Parkinson 病と運動療法. *運動器リハビリテーション* 2021;32:176-182

神谷雄己. 【脳梗塞急性期再開通療法】再開通療法における院内時短の現状と課題. *脳神経内科* 2021;94:411-418

河村満, 越智隆太, 二村明徳, 花塚優貴. マルセル・プルースト『失われた時を求めて』と記憶・時間の神経学の誕生. *Brain and Nerve* 2021;73:1319-1325

栗城綾子. 【経食道心エコーの新ルール!】脳神経内科医が考える塞栓源精査のルール. *心エコー* 2021;22:504-512

栗城綾子, 神谷雄己. 【脳神経画像 Critical Findings-おさえておきたい症状と CT/MRI 画像所見】CT/MRI で見落とし・誤認してはいけない疾患 Vessel signs 虚血性脳卒中. *Neurological Surgery* 2021;49:244-251

黒田岳志. “認知症+併存疾患” アプローチの最前線 -てんかん-. *内科* 2022;129: 1317-1320

杉本あずさ, 小野賢二郎. 神経内科学のトピックス A β 凝集制御薬. *認知症の最新医療* 2021;11:18-23

杉本あずさ, 小野賢二郎. レビー小体型認知症に対する疾患修飾薬開発. *老年精神医学雑誌* 2021;32:1177-1183

高橋聖也, 小野賢二郎, 馬場康彦. 【延髄とその周辺】糖尿病と脳幹梗塞. *脳神経内科* 2021;94:71-76

稗田宗太郎, 小野賢二郎. 神経疾患の新しい治療 レビー小体型認知症. *Clinical Neuroscience* 2021;39:786-787

稗田宗太郎, 小野賢二郎. 神経内科学のトピックス A β 免疫療法時代における高齢者タウオパチーの重要性 (解説). *認知症の最新医療* 2021;11:38-40

稗田宗太郎, 小野賢二郎. 認知症の治療の進歩. *神経治療学* 2021;38:715-718

稗田宗太郎, 小野賢二郎. COVID-19 と認知症. *内科* 2021;129:1349-1351

稗田宗太郎, 小野賢二郎. Alzheimer 病根本治療薬開発状況. *診断と治療* 2022;110: 611-615

二村明德, 越智隆太, 花塚優貴, 河村満. 時刻表的時間. 特集 1 器質性症候群へのいざない. *精神科* 2023;42:1-7

二村明德, 本間元康, 小野賢二郎, 河村満. 心の時間を支える神経基盤. シンポジウム VI 記憶と時間. *神経心理学* 2023;38:258-264

水間啓太, 栗城綾子, 村上秀友. ESUS:卵円孔開存. *脳神経内科* 2022;97:622-631

村上秀友. 【“認知症+併存疾患” アプローチの最前線】各併存疾患の対策と管理 パーキンソニズム. *内科* 2022;129:1321-1323

(C) 症例報告

a. 英文

Kakinuma Y, Kimura T, Sakae Y, Kubota S, Ono K, Kinno R. Takotsubo. Syndrome associated with autoimmune limbic encephalitis: A case report. *BMC Cardiovasc Disord* 2021;21:86

Kakinuma Y, Amano R, Ishida A, Nishino I, Taki K. Muscle magnetic resonance imaging abnormality in neuroleptic malignant syndrome: a case report. *BMC Neurology* 2022;22:396

Mizuma K, Sugimoto A, Mochizuki Y, Shinke T, Ono K. A case report of platypnea-orthodeoxia syndrome: A rare condition found during diagnostic workup of a patient with embolic stroke of undetermined sources. *eNeurological Sci* 2022;26:100393

(D) 著書

a. 英文

Kinno R, Chang E, Friederici AD. Syntax. In: Mandonnet E, Herbet G, ed. Intraoperative Mapping of Cognitive Networks: Which Tasks for which Locations. Springer Cham 2021;155-170

Kinno R, Ono K. High-density lipoprotein-cholesterol and neuroaging: memory and gyrification of the insular and frontal opercular cortex. In: Martin CR, Preedy VR, Rajendram R, ed. Factors affecting neurological aging. Academic Press, Elsevier, Cambridge, MA, 2021;259-268

b. 和文

小野賢二郎. 血管性認知症. 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編 今日の治療指針 2021 年版. 医学書院, 東京, 2021;952-954

小野賢二郎. Alzheimer 病. 園生雅弘, 北川一夫, 青木正志 (編) 最新の治療 2021-2023 年. 南江堂, 東京, 2021;169-170

小野賢二郎. アルツハイマー病とアミロイド β の現在. 鈴木則宏, 荒木信夫, 宇川義一, 桑原聡, 塩川芳昭 (編) Annual Review 神経 2021. 中外医学社, 東京, 2021;130-136

金野竜太, 酒井邦嘉. Part 1 前頭連合野 言語機能 基礎編: 言語を生み出す脳メカニズム. 河村満 (編) 連合野ハンドブック 神経科学×神経心理学で理解する大脳機能局在. 医学書院, 東京, 2021;76-85

杉本あずさ, 小野賢二郎. レビー小体型認知症. 神経診療がわかる現場の教科書診るロジックと薬の使い方. 藤本茂 (編) じほう, 東京, 2023;122-129

稗田宗太郎, 小野賢二郎. アルツハイマー病. 神経診療がわかる現場の教科書診るロジックと薬の使い方. 藤本茂 (編) じほう, 東京, 2023;110-120

二村明徳. 失行. 初学者のための神経心理学入門. 編著 松田実, 新興医学出版社, 東京, 2022;78-105

(3) 学会・研究会等

(A) 特別講演/招待講演/教育講演

a. 国際学会

Ono K: HMW A β oligomers are important targets for disease modifying approach of Alzheimer's disease. FASEB The Protein Aggregation Conference: Function, Dysfunction, and Disease. Virtual Conference, 2021.6.23-25

b. 国内学会

小野賢二郎. A β オリゴマーに焦点を当てたアルツハイマー病へのアプローチ. 第62回日本神経学会学術大会, 京都, 2021.5.19-22

小野賢二郎. パーキンソン病治療 up to date 新規治療薬の使用経験を含めて. 第62回日本神経病理学会総会学術研究会, Web 開催, 2021.5.27-29

小野賢二郎. 認知症診療における核医学検査の役割. 第63回日本老年医学会学術集会, Web 開催, 2021.6.11-13

小野賢二郎. アルツハイマー病予防への非薬物的アプローチ. 第10回日本認知症予防学会学術集会, 横浜, 2021.6.24-26

小野賢二郎. α シヌクレイン凝集体構造の多様性からレビー小体病を考える. 第15回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 仙台, 2021.7.1-3

小野賢二郎. 認知症診療における画像診断の有用性 レビー小体型認知症を中心に. 第57回日本医学放射線学会秋季臨床大会, Web 開催, 2021.9.17-19

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. 第29回日本神経内視鏡学会, 軽井沢, 2022.11.3-4

神谷雄己. 「安全に, 適切に! デバイス乱立の世に贈る若手医師へのメッセージ」TRON -秘められたそのパフォーマンス-. 第19回日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 東京, 2021.2.20

神谷雄己. より安全に TICI3 を得るための 3 MAX の使いどころとコツ. 第20回日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 東京, 2021.8.21

神谷雄己. プレホスピタルと初期対応を極める. 日本神経学会第4回特別教育研修会脳卒中コース, 東京, 2021.9.5

神谷雄己. How to build Brain Heart Team -脳血管内治療医からみた脳心連携-. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション 2021, 東京, 2021.11.5-6

神谷雄己. ADAPT 優先の MeVO 治療. 第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, 2021.11.25-27

栗城綾子. 「経食道心エコー」～経食道心エコーで非細菌性血栓性心内膜炎と診断した脳梗塞患者 11 例の特徴. 第 40 回日本脳神経超音波学会/第 24 回日本栓子検出と治療学会, 島根, 2021.6.4

栗城綾子. エコーを極める. 日本神経学会第 4 回特別教育研修会脳卒中コース, 東京, 2021.9.5

黒田岳志. アルツハイマー病の脳白質病変とクリアランス機能～抗体療法を見据えて～. 第 12 回日本脳血管・認知症学会総会, 東京, 2022.8.6

馬場康彦. 認知症の人の生活を支えるために医療従事者が持つべき理解とは. 第 15 回日本薬局学会, 東京, 2021.11.6

馬場康彦. 認知症の在宅診療～医師や薬剤師の役割とは～. 第 15 回日本在宅薬学会学術大会, 札幌, 2022.7.17

二村明徳. 時間感覚の臨床研究. 認知症の時間感覚を考える. 第 7 回時間言語フォーラム, 東京, 2021.1.23

二村明徳. 認知症診療におけるバイオマーカーと CIScore. 第 18 回脳核医学画像解析研究会, 東京, 2021.9.18

二村明徳, 越智隆太, 花塚優貴, 本間元康, 河村満, 小野賢二郎. 「こころの時間」を支える神経基盤. 第 45 回日本神経心理学会学術集会, 東京, 2021.10.1

水間啓太. 「奇異性脳塞栓症の診断と治療を考える」～院内診療体制の構築. 第 40 回日本脳神経超音波学会/第 24 回日本栓子検出と治療学会, 島根, 2021.6.4

水間啓太. 「若手が脳卒中を極めるには?」. 第 4 回日本神経学会脳卒中特別教育研修会, 東京, 2021.9.5

水間啓太. PFO 閉鎖術/エコー. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション 2021, 東京, 2021.11.6

宮内淑史, 神谷雄己, 加藤雄太, 和田隆秀, 福田早織, 藤井隆史, 栗城綾子, 坂口顕弘, 東園和也, 和田晃, 池田尚人. 施設間 work flow の構築によって脳卒中症例の病院間搬送時間を短縮できる. 第 37 回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 2021.11.25-27

村上秀友. 認知機能障害に注目して見えてくる Parkinson 病の病理・病態. 第 384 回昭和大学学士会例会, 東京, 2022.7.2

森友紀子. 血清 BDNF のアルツハイマー病のバイオマーカーの可能性. 第 40 回日本認知症学会学術大会, 東京, 2021.11.26-28

(B) 一般演題

a. 国際学会

Kanemoto M, Hieda S, Ono K. IV lacosamide use in Showa University Hospital. 13 th Asian & Oceanian Epilepsy Congress, Fukuoka, Japan 2021.6.10-13

Kanemoto M, Ono K, Kato M. Transition of epilepsy patient to Neurology in Showa University, Japan. 34 th International Epilepsy Congress, virtual congress, 2021.8.28-9.1

Kimura A, Tsuji M, Yasumoto T, Mori Y, Oguchi T, Umino M, Tsuji Y, Umino A, Nishikawa T, Nakamura S, Inoue T, Kiuchi Y, Yamada M, Teplow D, Ono K. Myricetin prevents high molecular weight A β 1-42 oligomer-induced neurotoxicity through antioxidant effects in cell membranes and mitochondria. Alzheimer's Association International Conference 2022, San Diego, CA, USA, 2022.7.31-8.2

Kimura A, Kinno R, Tsuji M, Ono K. Effects of Vitamin B 12 on cognitive function in elderly patients. Alzheimer's Association International Conference AAIC 2021, Denver, USA, 2021.7.26-30

Kinno R, Muragaki Y, Maruyama T, Tamura M, Tanaka K, Ono K, Sakai KL. Syntactic functions affected by both a glioma in the left internal capsule and structures in the right posterior insula. The 36 th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, Okinawa, Japan 2022.6.30-7.3

Nakayama T, Tsuji M, Oguchi T, Ono K. Video imaging of structural dynamics of amyloid β protofibrils. Alzheimer's Association International Conference AAIC 2021, Denver, USA, 2021.7.26-30

Futamura A, Kinno R, Hanazuka Y, Ochi R, Midorikawa A, Kitazawa S, Ono K, Kawamura M. Impairment of time perception in demented patients: linguistic assessment of past, present, and future. International Symposium on Chronogenesis: How the Mind Generates Time. Okinawa, Japan 2022.11.23-24

Murakami H, Ozawa M, Shiraishi T, Umehara T, Omoto S, Iguchi Y. Association of behavioral activation system with dopaminergic striatum in Parkinson's disease patients. American Academy of Neurology 2022 virtual meeting, Seattle, USA, 2022.4.24-26

b. 国内学会

飯塚奈都子, 黒田岳志, 橋口幸宜, 石代優美香, 三木綾子, 門馬佑太郎, 兼元みずき, 笠井英世, 矢野怜, 稗田宗太郎, 村上秀友. 当院で経験した担癌患者における視神経脊髄炎スペクトラム (NMO spectrum disorders : NMOSD) の臨床像. 第 34 回日本神経免疫学術大会, 長崎, 2022.10.20-21

井藤尚仁, 柿沼佑樹, 杉本あずさ, 笠井英世, 矢野怜, 稗田宗太郎, 村上秀友, 小野賢二郎. Lacosamide が奏功した発作性運動誘発性アテトーシスの 24 歳女性例. 第 16 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 東京, 2022.7.21-23

井藤尚仁, 辻まゆみ, 池中健介, César Aguirre, 小口達敬, 木村篤史, 門馬佑太郎, 野原哲人, 大橋英朗, 山本謙, 永田未希, 村上秀友, 望月秀樹, 小野賢二郎, 木内祐二.

α シヌクレイン高分子オリゴマーによる神経細胞障害機序の解明. 第 41 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2022.11.25-27

井藤尚仁, 辻まゆみ, 中村史朗, 安達直樹, 小口達敬, 木村篤史, 門馬佑太郎, 野原哲人, 大橋英朗, 山本謙, 小野賢二郎, 村上秀友, 木内祐二. α シヌクレインプロトフィブリルによる神経細胞傷害機序の解明. 第 69 回昭和大学学士会総会, 東京, 2022.12.3.

大橋英朗, 辻まゆみ, 小口達敬, 門馬佑太郎, 野原哲人, 井藤尚仁, 山本謙, 永田未希, 小野賢二郎, 木内祐二. クルクミンとフェルラ酸のアミロイド β 凝集 および神経細胞傷害への相加的効果. 第 40 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2021.11.26-28

大橋英朗, 辻まゆみ, 小口達敬, 門馬佑太郎, 野原哲人, 井藤尚仁, 山本謙, 永田未希, 小野賢二郎, 木内祐二. クルクミンとフェルラ酸のアミロイド β 凝集 および神経細胞傷害への相加的効果. 第 68 回昭和大学学士会総会, 東京, 2021.12.4

小山内綾子, 今井昇, 守屋麻美, 笠井英世. 片頭痛発作を誘発する臭いについての検討. 第 49 回日本頭痛学会総会, 静岡, 2021.11.19-21

小尾俊敦, 慶長雅人, 鍋島陽子, 高橋聖也, 二村明徳, 馬場康彦. 胸髄に長大病変を呈した COVID-19 関連脊髄炎の 78 歳男性例. 第 242 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2022.9.3

小尾俊敦, 慶長雅人, 渡邊晋平, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 高橋聖也, 安本太郎, 野元祥平, 二村明徳, 村上秀友, 馬場康彦. 胸髄に長大病変を呈した COVID-19 脊髄炎の 78 歳男性例. 第 680 回日本内科学会関東地方会, 東京, 2022.9.24

笠井英世, 渡辺慶子, 渡辺大士, 水間啓太, 二村明徳, 黒田岳志, 矢野怜, 稗田宗太郎, 小野賢二郎. 抗 CGRP 抗体薬投与の有効性の報告とその特徴, また投与拒否患者の傾向についての考察. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

笠井英世, 渡辺慶子, 渡辺大士, 水間啓太, 二村明徳, 黒田岳志, 矢野怜, 稗田宗太郎, 村上秀友. 抗 CGRP 抗体薬投与に関する実臨床での有効性およびその評価の考察, また投与拒否患者の傾向についての考察. 第 40 回日本神経治療学会学術集会, 福島, 2022.11.2-4

笠井英世, 渡辺慶子, 安本太郎, 渡辺大士, 水間啓太, 二村明徳, 黒田岳志, 矢野怜, 稗田宗太郎, 村上秀友. アンケートから見てきた, 患者目線における抗 CGRP 抗体薬 3 剤の初期選択について. 第 50 回日本頭痛学会総会, 東京, 2022.11.25-26

片岡和之, イズデブスキ彬子, 三木綾子, 小室浩康, 渡辺大士, 水間啓太, 木村友之, 稗田宗太郎, 相良博典, 小野賢二郎. SARS-CoV-2 mRNA ワクチン接種後に好酸球増多症と多発性脳梗塞が疑われた 57 歳男性例. 第 239 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.12.4

加藤悠太, 宮内淑史, 神谷雄己, 和田隆秀, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 栗城綾子, 田中健一郎. 両側遠位橈骨動脈アプローチでバルーン閉塞試験を施行した一例. 第 19 回日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 東京, 2021.2.20

加藤悠太, 宮内淑史, 神谷雄己, 和田隆秀, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 山本謙, 栗城綾子. 両側遠位橈骨動脈アプローチでバルーン閉塞試験を施行した一例. 第 2 回経橈骨動脈脳血管内治療研究会, Web 開催, 2021.3.6

加藤悠太, 尾上祐行, 沼畑恭子, 吉澤健太, 小川知宏, 赤岩靖久, 滝口義晃, 宮本智之. COVID-19 ワクチン接種後に急性散在性脳脊髄炎を来した 57 歳女性例. 第 239 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.12.4

兼元みずき, 渡辺慶子, 矢野怜, 稗田宗太郎, 小野賢二郎. 当施設における二次性進行型多発性硬化症疑い症例の検討. 第 62 回日本神経学会学術大会, 京都, 2021.5.19-22

兼元みずき, 稗田宗太郎, 小野賢二郎. PD における睡眠障害と臨床症状および経過. 第 15 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 仙台, 2021.7.1-3

兼元みずき, 加藤光弘. 脳神経内科におけるてんかんのトランジションについて. 第 54 回日本てんかん学会学術集会, 名古屋, 2021.9.23-25

兼元みずき. てんかん合併妊娠の脳神経内科的管理. 第 15 回日本てんかん学会関東甲信越地方会, 神奈川, 2021.11.27

兼元みずき. パーキンソン病のロチゴチン投与患者における発汗過剰. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

木崎順一郎, 黒田岳志, 恩田秀寿, 塚越美奈, 石川 均, 小野賢二郎. 視神経炎で初発し, 後に自己抗体陰性 視神経脊髄炎スペクトラム障害の診断に至った 1 例. 第 59 回日本神経眼科学会総会, 東京, 2021.12.17-18

木村篤史, 安本太郎, 森友紀子, 海野真一, 海野麻未, 西川徹, 辻まゆみ, 村上秀友, 小野賢二郎. ミリセチン歯, 細胞膜・ミトコンドリアでアミロイドβオリゴマーの神経毒性を抑制する. 第 41 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2022.11.25-27

金野竜太, 木村太朗, 柿沼佑樹, 大橋英朗, 栄良樹, 久保田怜美, 小野賢二郎. たこつば型心筋症発症後に著明な短期記憶障害が明らかになった自己免疫性辺縁系脳炎の一例. 第 26 回日本神経精神医学会学術集会, 仙台, 2021.10.15-16

金野竜太, 垣善浩, 丸山隆志, 田村学, 田中恭平, 小野賢二郎, 酒井邦嘉. 左内包後脚の神経膠腫が統制理解障害に及ぼす影響. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

栗城綾子, 野元祥平, 福田早織, 藤井隆史, 島田豪, 菊池優一, 池田尚人. 活動性悪性腫瘍患者における脳梗塞: 非細菌性血栓性心内膜炎を伴う例, 伴わない例の比較. 第 48 回日本脳卒中学会学術集会, 神奈川, 2023.3.18

黒田岳志, 松岡 馨, イズデブスキ彬子, 久保田怜美, 渡辺慶子, 森友紀子, 二村明德, 春日健作, 池内健, 小野賢二郎. 正常圧水頭症とアルツハイマー型認知症の脳白質病変の比較. 第 40 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2021.11.26-28

Kuroda T, Honma M, Mori Y, Futamura A, Sugimoto A, Kasai H, Yano S, Hieda S, Kasuga K, Ikeuchi T, Ono K. White matter lesions may aid in differentiating iNPH and AD. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

黒田岳志, 本間元康, 森友紀子, 二村明德, 笠井英世, 矢野怜, 稗田宗太郎, 小野賢二郎, 村上秀友. 認知症早期において脳白質病変と脳血流が認知機能に与える影響についての検討. 第 11 回日本認知症予防学会学術集会, 福岡, 2022.9.23-25.

黒田岳志, 本間元康, 森友紀子, 二村明德, 笠井英世, 矢野怜, 稗田宗太郎, 小野賢二郎, 村上秀友. 認知症早期において脳白質病変と脳血流が認知機能に与えるプロセスについての検討. 第 41 回日本認知症学会学術集会/第 37 回日本老年精神医学会[合同開催], 東京, 2022.11.25-27

慶長雅人, 小尾俊敦, 渡邊晋平, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 高橋聖也, 安本太郎, 野元祥平, 二村明德, 馬場康彦. 急速進行性認知症と鑑別を要した薬剤性高 Ca・高 Mg 血症の 74 歳女性例. 第 680 回日本内科学会関東地方会, 東京, 2022.9.24

石代優美香, 菊池雷太, 南雲清美. 開閉眼時に変化する手指模倣障害を呈した肺炎桿菌性髄膜炎および脳膿瘍の 68 歳男性例. 第 236 回関東・甲信越地方会, 東京, 2021.3.6

石代優美香, 今井昇, 下濱祥, 津幡拓也, 篠原慶, 守屋麻美, 八木宣泰, 小西高志, 芹澤正博, 笠井英世. 片頭痛患者に対するガルカネズマブ初回導入 1 週間後における早期効果の検討. 第 49 回日本頭痛学会総会, 静岡, 2021.11.19-21

Kosuge S, Masaoka Y, Kasai H, Honma M, Kosuge M, Murakami K, Yoshii N, Murakami H, Izumizaki M. Relation between severity of headache and basal ganglia volume in migraine patients. 日本生理学会第 100 回記念大会, 京都, 2023.3.14-16

小室浩康, 水間啓太, 渡辺大士, 野原哲人, 三木綾子, 加藤悠太, 橋口幸宜, 野勢崇博, 黒田岳志, 小野賢二郎, 村上秀友. がん関連脳梗塞におけるダブルシヤントスクリーニングの意義. 第 48 回日本脳卒中学会学術集会, 横浜, 2023.3.16-18

坂井健二, 篠原もえ子, 池田篤平, 浜口毅, 小野賢二郎, 山田正仁. 脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の脳脊髄液における炎症関連マーカーの解析, 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 福岡, 2021.3.11-13

坂井健二, 篠原もえ子, 池田篤平, 浜口 毅, 小野賢二郎, 山田正仁, Cerebrospinal fluid inflammatory markers in cerebral amyloid angiopathy-related inflammation. 第 62 回日本神経学会学術大会, 京都, 2021.5.19-22

澤井綾子, 守屋麻美, 津幡拓也, 篠原慶, 八木宣泰, 小西高志, 今井昇, 芹澤正博. 大脳皮質, 白質, 脊髄に病変を認め, 脱髄性疾患を疑った症例. 第 72 回静岡神経疾患懇話会, 静岡, 2021.3.19

正路大樹, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 安本太郎, 高橋聖也, 野元祥平, 杉本あずさ, 馬場康彦. 点鼻薬の使用が発症の契機と考えられた右後頭葉皮質下出血の 80 歳男性例. 第 238 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.9.4

進藤桂子, 小野賢二郎, 白崎弘恵, 柳瀬大亮, 高紀信, 石浦浩之, 辻省次, 瀧山嘉久, 山田正仁, GBA2 遺伝子に変異を認め SPG 46 と診断した 1 兄妹例の検討. 第 62 回日本神経学会学術大会, 京都, 2021.5.19-22

杉本あずさ, 鍋島陽子, 正路大樹, 刑部祐友子, 安本太郎, 高橋聖也, 野原哲人, 野元祥平, 森友紀子, 二村明德, 笠井英世, 黒田岳志, 矢野怜, 稗田宗太郎, 馬場康彦, 小野賢二郎. 主観的時間認知を測定する質問紙の作成. 第 40 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2021.11.26-28

洲之内あずさ, 栗城綾子, 島田豪, 藤井隆史, 福田早織, 木村篤史, 山口裕己, 村上秀友. 心房細動を有する脳出血患者に対して左小開胸下左心耳閉鎖術施工後に左房内血栓を生じた 78 歳男性例. 第 242 回日本神経学会関東・甲信越地方会. 東京, 2022.9.3

高橋聖也, 正路大樹, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 安本太郎, 野元祥平, 二村明德, 馬場康彦. PSP-Parkinsonism とパーキンソン病におけるドパミントランスポーターシンチグラフィー画像の形態学的変化と罹病期間の定量比較, 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

中西達彌, 松岡馨, 小室浩康, 二村明德, 杉本あずさ, 笠井英世, 稗田宗太郎, 小野賢二郎. 変形視で発症し M 232 R 変異を認めた Creutzfeldt-Jakob 病 (CJD) の 52 歳女性例. 第 237 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.6.5

中西達彌, 野勢崇博, 小室浩康, 浅野未希, 大橋英朗, 渡辺大士, 水間啓太, 稗田宗太郎, 村上秀友. 経時的な画像変化で左静脈性視床梗塞を疑った 13 歳男児例. 第 242 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2022.9.3

鍋島陽子, 正路大樹, 刑部祐友子, 高橋聖也, 安本太郎, 野元祥平, 二村明德, 馬場康彦. クリーゼに心筋障害を合併した抗 titin 抗体陽性重症筋無力症の 68 歳男性例. 第 240 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2022.3.5

鍋島陽子, 小尾俊敦, 慶長雅人, 渡邊晋平, 正路大樹, 刑部祐友子, 高橋聖也, 安本太郎, 野元祥平, 二村明德, 村上秀友, 馬場康彦. タクロリムスが心筋障害を抑制していたと考えられる抗 titin 抗体陽性重症筋無力症の一例. 第 40 回日本神経治療学会学術集会, 福島, 2022.11.3

野勢崇博, 石田敦士, イズデブスキ彬子, 小室浩康, 久保田怜美, 森友紀子, 黒田岳志, 村上秀友. Guillain-Barré 症候群との鑑別を要した HTLV-1 関連脊髄症の 78 歳男性例. 第 244 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2023.3.4

野原哲人, 辻まゆみ, 小口達敬, 門馬佑太郎, 大橋英朗, 永田未希, 井藤尚仁, 山本謙, 村上秀友, 木内祐二. A β oligomer 誘発性神経細胞傷害に対する骨粗鬆症治療薬 Raloxifene の神経保護作用. 日本薬理学会年会, 神奈川, 2022.11.30-12.3

野原哲人, 辻まゆみ, 小口達敬, 門馬佑太郎, 大橋英朗, 永田未希, 井藤尚仁, 山本謙, 村上秀友, 木内祐二. A β oligomer 誘発性神経細胞傷害に対する骨粗鬆症治療薬 Raloxifene の神経保護作用. 昭和大学学士会例会, 東京, 2022.12.17

野元祥平, 安本太郎, 正路大樹, 高橋聖也, 刑部祐友子, 杉本あずさ, 小野賢二郎, 馬場康彦. 自然軽快したアミロイドアンギオパチー関連脳症疑いの 84 歳女性例. 第 237 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.6.5

野元祥平, 刑部祐友子, 正路大樹, 鍋島陽子, 高橋聖也, 安本太郎, 二村明德, 馬場康彦. パーキンソン症候群を呈する筋萎縮性側索硬化症の 70 代女性例. 第 239 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.12.4

野元祥平, 安本太郎, 鍋島陽子, 高橋聖也, 正路大樹, 刑部祐友子, 小尾俊敦, 慶長雅人, 渡邊晋平, 二村明德, 村上秀友, 馬場康彦. 軽症 COVID-19 感染後に急性出血性白質脳炎を呈した 40 歳女性例. 第 34 回日本神経免疫学会学術集会, 長崎, 2022.10.20-21

橋口幸宜, 門馬佑太郎, 三木綾子, 飯塚奈都子, 兼元みずき, 笠井英世, 矢野怜, 稗田宗太郎, 村上秀友. 脳梁膨大部病変による変形視で発症した多発性硬化症の 52 歳症例. 第 241 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2022.6.4

平栗舞歩, 木村努, 二村明德, 小室浩康, 四郎丸あずさ, 笠井英世, 小野賢二郎. メモリーノートの活用が有効だった抗 NMDA 受容体脳炎の一例. 第 45 回日本高次脳機能障害学会学術総会, 福島/Web, 2021.12.9-10

藤井隆史, 宮内淑史, 加藤悠太, 和田隆秀, 福田早織, 小室浩康, 田中健一郎, 栗城綾子, 神谷雄己, 小野賢二郎. 血栓病理で腫瘍細胞が検出された塞栓性脳梗塞の 1 例. 第 666 回日本内科学会関東地方会, 東京, 2021.2.7

Futamura A, Hieda S, Mori Y, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Kasuga K, Murakami H, Ikeuchi T, Ono K. Cingulate island sign in SPECT: clinical biomarker correlations in LBD and AD. 第 62 回日本神経学会学術大会, 京都, 2021.5.19-22

Futamura A, Hieda S, Mori Y, Kasuga K, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Tsuji M, Ikeuchi T, Irie K, Ono K. Toxic amyloid β 42 conformer may accelerate the onset of Alzheimer's disease in the preclinical stage. 第 40 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2021.11.26-28

Futamura A, Hieda S, Mori Y, Kasuga K, Sugimoto A, Kasai H, Kuroda T, Yano S, Tsuji M, Ikeuchi T, Irie K, Ono K. Toxic amyloid β 42 conformer may accelerate the onset of Alzheimer's disease in the preclinical stage. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

邊見光, 柿沼佑樹, 石代優美香, 加藤悠太, 久保田怜美, 森友紀子, 黒田岳志, 村上秀友. 視覚性運動失調から硬膜下膿瘍を疑った細菌性髄膜炎の 69 歳男性例. 第 243 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2022.12.3.

松岡馨, 小澤準之輔, 浅野未希, 木村篤史, イズデブスキ彬子, 久保田怜美, 飯塚奈都子, 渡辺慶子, 黒田岳志, 稗田宗太郎, 小野賢二郎. 早期の免疫治療により良好な転帰を辿った New-onset refractory status epilepticus の 27 歳女性例. 第 238 回日本神経学会関東甲信越地方会, 東京, 2021.9.4

松岡馨, 小尾俊敦, 慶長雅人, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 安本太郎, 高橋聖也, 二村明德, 馬場康彦. 筋強剛, 安静時振戦によりパーキンソン病が疑われた巨大髄膜腫の 36 歳男性例. 第 244 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2023.3.4

水間啓太. Platypnea-Orthodeoxia Syndrome に対する卵円孔閉鎖術の有用性 ; 3 症例での検討. 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2021.6.10

水間啓太, 三木綾子, 小室浩康, 福岡裕人, 望月泰秀, 松田芳和, 栗城綾子, 富田英, 新家俊郎, 村上秀友. 脳神経内科からみた Brain Heart Team. 第 41 回日本脳神経超音波学会/第 25 回日本穿刺検出と治療学会・シンポジウム 8「脳・心連携による脳卒中診療」, 東京, 2022.6.3-4

水間啓太, 加藤悠太, 三木綾子, 小室浩康, 野原哲人, 渡辺大士, 栗城綾子, 小野賢二郎, 村上秀友. ブレインハートチームによる卵円孔開存閉鎖術の術前術後. STROKE 2023/第 48 回日本脳卒中学会学術集会, 神奈川, 2023.3.16-18

宮内淑史, 神谷雄己, 加藤悠太, 和田隆秀, 福田早織, 藤井隆史, 栗城綾子, 坂口顕弘, 東園和也, 和田晃, 池田尚人. 遠位橈骨動脈アプローチによる頸動脈ステント留置術の有用性と課題. 第 37 回日本脳神経血管内治療学会, 福岡, 2021.11.25-27

村上秀友, 奥村元博, 小澤正和, 高橋潤一郎, 三森雅弘, 幕昂大, 茂木晴彦, 秋山志穂, 白石朋敬, 北川友通, 高津宏樹, 佐藤健朗, 小松鉄平, 坊野恵子, 坂井健一郎, 梅原淳, 大本周作, 三村秀毅, 井口保之. MAO-B 阻害薬単剤投与による Parkinson 病の運動症状の改善効果は前頭葉機能に関連している. 第 63 回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21

森友紀子, 辻まゆみ, 小口達敬, 春日健作, 木村篤史, 二村明德, 杉本あずさ, 笠井英世, 黒田岳志, 矢野怜, 稗田宗太郎, 木内祐二, 池内健, 小野賢二郎. 血清 BDNF のアルツハイマー病のバイオマーカーの可能性. 第 40 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2021.11.26-28

門馬佑太郎, 辻まゆみ, 小口達敬, 野原哲人, 大橋英朗, 井藤尚仁, 山本謙, 永田未希, 中村史朗, 小野賢二郎, 木内祐二. $A\beta$ 高分子 oligomer 誘発性細胞傷害に対する新規治療薬 GT 863 の保護作用. 第 40 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2021.11.26-28

門馬佑太郎, 辻まゆみ, 小口達敬, 野原哲人, 大橋英朗, 井藤尚仁, 山本謙, 永田未希, 中村史朗, 小野賢二郎, 木内祐二. クルクミン誘導体 GT 863 のアミロイド β 高分子オリゴマー誘発性細胞傷害に対する保護作用. 第 68 回昭和大学学会総会, 東京, 2021.12.4

安本太郎, 正路大樹, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 高橋聖也, 野元祥平, 二村明德, 馬場康彦. 難聴で発症した抗 MOG 抗体陽性の急性散在性脳脊髄炎男性例. 第 241 回日本神経学会関東甲信越地方会, 東京, 2022.6.4

渡邊晋平, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 高橋聖也, 安本太郎, 野元翔平, 二村明德, 馬場康彦. SARS-CoV-2 mRNA ワクチン接種後に慢性炎症性脱髄性多発神経炎を発症した 68 歳女性例. 第 680 回日本内科学会関東地方会, 東京, 2022.9.24

渡邊晋平, 鍋島陽子, 刑部祐友子, 安本太郎, 野元祥平, 二村明德, 馬場康彦. SARS-COV-2 mRNA ワクチン接種後に慢性炎症性脱髄性多発神経炎を再燃した 68 歳女性例. 第 243 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2022.12.3

渡辺慶子, 笠井英世, 安本太郎, 水間啓太, 二村明德, 黒田岳志, 矢野怜, 金野竜太, 稗田宗太郎, 村上秀友. 抗 CGRP 抗体薬投与の有効性の報告とその評価方法についての考察 A discussion of the efficacy of anti-CGRP antibody drug administration and its evaluation methods. 第 50 回日本頭痛学会総会, 東京, 2022.11.25-26

和田隆秀, 宮内淑史, 加藤悠太, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 栗城綾子, 神谷雄己. 齧歯から細菌性髄膜炎を発症し細菌性脳動脈瘤の破裂をきたした 79 歳女性例. 第 237 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2021.6.5

(C) 研究班：班会議等

河村満, 二村明德, 越智隆太, 花塚優貴. 時間認知の神経心理学的検討. 新学術領域「時間生成学-時を生み出すところの仕組み」2020 年度第 2 回領域会議, Web, 2021.01.30

二村明德, 越智隆太, 花塚優貴, 河村満. Long Covid-19 の神経心理学的病態を探索する嗅覚・味覚・時間認知障害. 新学術領域「時間生成学-時を生み出すところの仕組み」2021 年度第 2 回領域会議, Web, 2022.2.12

二村明德, 花塚優貴, 越智隆太, 笠井英世, 黒田岳志, 大田進, 稗田宗太郎, 田中明彦, 相良博典, 小野賢二郎, 河村満. コロナ罹患後の疲労感と時間認知. 新学術領域「時間生成学-時を生み出すところの仕組み」2022 年度第 2 回領域会議, 広島, 2022.3.5-6

水間啓太. 昭和・慈恵 PFO 研究 班会議 (PFO-PSUP Detection Research (PPDR)) 第 2 回会議, 東京, 2021.1.26

矢野怜, 水間啓太, 三木綾子. 昭和・慈恵 PFO 研究 班会議 (PFO-PSUP Detection Research (PPDR)) 第 3 回会議, 東京, 2021.12.13

(D) 他大学等での講義

石田敦士. 変性疾患, 認知症, 筋ジストロフィー, 重症筋無力症, 脱髄疾患, 感染症, 機能性疾患. 富士吉田市立看護専門学校, 山梨, 2021.5.17/5.27/6.1

二村明德. 脳からみる失行. 令和4年度福祉保健局・東京都立病院機構 No 43 専門研修職種職務専門研修 理学療法・作業療法. Web, 2023.1.31

松岡馨. 変性疾患, 認知症, 筋ジストロフィー, 重症筋無力症, 脱髄疾患, 感染症, 機能性疾患, 富士吉田市立看護専門学校, 山梨, 2022.5

村上秀友. 錐体外路疾患, 認知症, 東京慈恵会医科大学, 東京, 2022.5.19

村上秀友. ベッドサイド向け神経機能検査・トピックス, 東京慈恵会医科大学, 東京, 2022.9.15

(E) 講演会, 研究会等

大橋英朗. 経時的な画像変化により左静脈性視床梗塞を疑った13歳男児例. 第6回みなと・品川 神経セミナー, 東京, 2022.11.10

小野賢二郎. アルツハイマー病: 疾患修飾へのアプローチ. 第1回神経難病カンファレンス in 東京, 東京, 2021.1.9

小野賢二郎. 認知症領域におけるプロテインパチー: 疾患修飾へのアプローチ. 第7回京滋デメンシアコンgres, 京都, 2021.1.23

小野賢二郎. レビー小体型認知症を考える. レビー小体型認知症を考える Web 講演会, 東京, 2021.1.26

小野賢二郎. レビー小体病: 疾患修飾へのアプローチ. レビー小体病フォーラム, 東京, 2021.2.25

小野賢二郎. 腸内微生物叢由来フェノール化合物の α シヌクレイン蛋白凝集制御効果. Early Spring PD Seminar in 山形, 山形, 2021.3.1

小野賢二郎. アルツハイマー病の病態と治療戦略を考える. 富山県脳神経内科セミナー, 富山, 2021.3.3

小野賢二郎. レビー小体病: 疾患修飾へのアプローチ. DLB フォーラム in 沖縄, 那覇, 2021.3.5

小野賢二郎. レビー小体病: 疾患修飾へのアプローチ. Lewy body disease seminar in 信州, 長野, 2021.3.11

小野賢二郎. 認知症診療における画像診断の有用性ーレビー小体型認知症を中心にー. 埼玉認知症画像カンファレンス, さいたま, 2021.3.22

小野賢二郎. アルツハイマー病疾患修飾療法の展望. 日本薬局学会 症例報告書き方セミナー, 東京, 2021.4.11

小野賢二郎．認知症の共生と疾患修飾療法への展望ーレビー小体型認知症を中心にー.世田谷認知症ネットワーク研究会 WEB 講演会, 東京, 2021.4.14

小野賢二郎．アルツハイマー病の病態と治療戦略を考える．第 23 回中・四国老年期認知症研究会, 香川, 2021.4.17

小野賢二郎．アルツハイマー病発症機序解明の現状と先制医療の展望．バイオマーカーを加味した認知症診療を考える会 in 青森, 青森, 2021.4.19

小野賢二郎．パーキンソン病の治療的アプローチを考える．Neurodegenerative Disease Experts Seminar, 東京, 2021.4.22

小野賢二郎．認知症の Patient Journey を見つめた疾患修飾へのアプローチ．アルツハイマー病研究会第 22 回学術シンポジウム, 東京, 2021.4.24

小野賢二郎．認知症領域におけるプロテノパチー: 疾患修飾へのアプローチ．Alzheimer' s Disease Web seminar, 東京, 2021.6.3

小野賢二郎．認知症の Patient Journey を見つめた疾患修飾へのアプローチ．第 26 回生物化学的測定研究会学術集会プログラム With/Post コロナ社会の医療, 東京, 2021.6.4

小野賢二郎．認知症の Patient Journey を見つめた医療介入．認知症診療の近未来を考える会, 東京, 2021.6.7

小野賢二郎．将来を見据えたパーキンソン病の治療的アプローチ．パーキンソン病治療セミナー, 東京, 2021.6

小野賢二郎．認知症の Patient Journey を見つめた医療介入．品川認知症対策協議会, 第 17 回品川認知症勉強会, 東京, 2021.7.2

小野賢二郎．認知症の Patient Journey を見つめた医療介入．認知症診療の近未来を考える会 in 鹿児島, 鹿児島, 2021.7.6

小野賢二郎．将来を見据えたパーキンソン病の治療的アプローチ．神経変性疾患 Online Lecture, 東京, 2021.7.7

小野賢二郎．アルツハイマー病の病態と治療戦略を考える．日本医師会生涯教育講座脳神経内科フォーラム in 北海道, 札幌, 2021.7.16

小野賢二郎．Clinical experience sharing in the diagnosis and management of Alzheimer' s disease. AD Global Forum, 東京, 2021.7.17

小野賢二郎. 認知症の Patient Journey を見つめた医療介入. 第 19 回香川認知症研究会, 高松, 2021.7.20

小野賢二郎. 認知症の Patient Journey を見つめた医療介入. 第 15 回 Clinical Dementia Forum, 福岡, 2021.7.21

小野賢二郎. パーキンソン病病態制御と早期治療を考える. 徳島パーキンソン病 Web セミナー, 徳島, 2021.7.29

小野賢二郎. 認知症の Patient Journey を見つめた医療介入. 認知症診療の近未来を考える会 in 岡山, 岡山, 2021.8.5

小野賢二郎. 認知症の Patient Journey を見つめた医療介入. 第 1 回 Nagasaki Clinical Dementia Conference, 長崎, 2021.8.23

小野賢二郎. パーキンソン病の病態制御と治療を考える. Parkinson's Disease Eisai Web Seminar, 金沢, 2021.8.24

小野賢二郎. レビー小体型認知症の診断と治療. 地域包括ケアのためのレビー小体病 Web セミナー, 東京, 2021.8.30

小野賢二郎. パーキンソン病病態制御と早期治療を考える. Parkinson's Disease Web Conference, 金沢, 2021.9.12

小野賢二郎. パーキンソン病の治療的アプローチを考える. 神経内科 Up-toDate WEB セミナー, 東京, 2021.9.15

小野賢二郎. アルツハイマー病: 疾患修飾へのアプローチ. 第 18 回脳核医学画像解析研究会, 東京, 2021.9.18

小野賢二郎. 認知症の Patient Journey を見つめた疾患修飾へのアプローチ. 金沢市医師会脳神経・精神疾患談話会, 金沢, 2021.9.22

小野賢二郎. パーキンソン病: 疾患修飾を念頭においた治療的アプローチ. 北陸 PD 治療セミナー-New era of Parkinson's disease treatment-, 金沢, 2021.9.29

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ~抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に~. 片頭痛診療 UpToDate, 東京, 2021.8.20

笠井英世. 知っていてほしい「頭痛外来という特殊な診療」. 片頭痛治療を考える会 in 品川, 東京, 2021.9.21

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ~抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に~. 片頭痛 Web Seminar, 東京, 2021.10.4

笠井英世. 頭痛外来と薬剤師が共に行う片頭痛診療の提案 ～抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に～. 玉川砧薬剤師会勉強会, 東京, 2021.11.18

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に～. 抗 CGRP 抗体薬アジヨビ発売記念講演会, 東京, 2021.11.29

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～頭痛の診療ガイドライン 2021 に沿って～. 片頭痛診療を考える Web セミナー, 東京, 2021.12.13

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に～. Expert Web Meeting, 東京, 2022.1.12

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に～. 片頭痛治療 WEB 講演会, 東京, 2022.1.17

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に～. 片頭痛診療を考える会, 山梨, 2022.1.31

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～抗 CGRP モノクローナル抗体薬発売を契機に～. これからの頭痛診療を考える WEB セミナー, 札幌, 2022.2.25

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案 ～頭痛の診療ガイドライン 2021 に沿って～. 城南頭痛ネットワーク 2022, 東京, 2022.3.7

笠井英世. あなたの頭痛,治してみませんか? 片頭痛 Web Seminar, 東京, 2022.3.28

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案～新薬; 抗 CGRP 抗体薬の有効性とその負担軽減について～. 片頭痛診療を考える会, 尼崎, 2022.4.8

笠井英世. 医師側の頭痛診療に対する意識改革の提案～新薬; 抗 CGRP 抗体薬の有効性とその負担軽減について～. 片頭痛診療を考える会, 金沢, 2022.5.13

笠井英世. 知っていてほしい頭痛外来での頭痛診療～片頭痛について抑えるべきポイントと最新の治療～. 杉並・中野・新宿三区合同学術講演会, 東京, 2022.6.7

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. Migraine Expert Web Seminar, 東京, 2022.6.24

笠井英世. 知っていてほしい頭痛外来での頭痛診療～片頭痛について抑えるべきポイントと最新の治療～. 練馬区医師会学術講演会, 東京, 2022.7.12

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. 神経疾患学術講演会 2022, 東京, 2022.7.22

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. 板橋区 頭痛疾患を考える, 東京, 2022.7.25

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. Migraine Expert Web Seminar, 東京, 2022.8.8

笠井英世. 免疫チェックポイント阻害薬による神経・筋障害. 第 6 回昭和大学病院 irAE 勉強会～神経・筋障害～, 東京, 2022.8.19

笠井英世. 知っていてほしい頭痛外来での頭痛診療～片頭痛について抑えるべきポイントと最新の治療～. Migraine Up To Date Web Seminar, 東京, 2022.8.23

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案～. 片頭痛 Seminar, 金沢, 2022.9.7

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. アジヲビ発売 1 周年記念講演会, 帯広, 2022.9.15

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. Migraine Expert Web Seminar, 東京, 2022.9.16

笠井英世. 知っていてほしい頭痛外来での頭痛診療～片頭痛について抑えるべきポイントと最新の治療～. 館林邑楽薬剤師会講演会, 館林, 2022.10.3

笠井英世. 治療選択肢が広がった予防療法の現在～患者さんと理解を深める診療提案と治療選択～. Otsuka e 講演会 HOT MONTH Autumn/Winter①, 東京, 2022.10.25

笠井英世. 労働生産性の障害を生む片頭痛に対する最新治療～患者さんに理解させる頭痛外来の提案とともに～. Headache Seminar, 横浜, 2022.11.17

笠井英世. 治療選択肢が広がった予防療法の現在～患者さんと理解を深める診療提案と治療選択～. 頭痛診療地域連携セミナー, 東京, 2022.12.1

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. 第 3 回西濃片頭痛を考える会, 岐阜, 2022.12.22

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. Migraine Guide Seminar, 鎌倉, 2023.1.26

笠井英世. 治療選択肢が広がった予防療法の現在～患者さんと理解を深める診療提案と治療選択～. 第1回城南頭痛懇話会, 東京, 2023.2.10

笠井英世. 治療選択肢が広がった予防療法の現在～患者さんと理解を深める診療提案と治療選択～. 片頭痛診療の up to date, 高知, 2023.3.10

笠井英世. 抗 CGRP 抗体薬が治療選択肢に入った頭痛外来の現在～患者さんに理解させる頭痛外来の提案と最新治療について～. Migraine Expert Web Seminar, 東京, 2023.3.13

笠井英世. 治療選択肢が広がった予防療法の現在～患者さんと理解を深める診療提案と治療選択～. 診療協議会, 浜松, 2023.3.16

笠井英世. 片頭痛治療のインフォームドコンセントのポイント. Migraine Expert Meeting ～抗 CGRP 抗体製剤の上手な IC を考える, 東京, 2023.3.24

笠井英世. 知っていてほしい頭痛外来での頭痛診療～片頭痛について抑えるべきポイントと最新の治療～. Gunma Migraine Web Seminar, 前橋, 2023.3.28

加藤悠太. 特別公演の内容及び日々の診断や治療における質問を國分先生に聞いてみよう. CIDP Forum in Koshigaya, 埼玉, 2021.10.11

加藤悠太. 早期診断が可能であったリンパ節限局型肺小細胞癌を背景とした傍腫瘍性ニューロパチーの71歳男性例. 第7回城南神経疾患フォーラム, 東京, 2022.9.15

兼元みずき. パーキンソン病の治療戦略に関する検討. Ogmentys Web Discussion Meeting, 東京, 2021.2.2

兼元みずき. パーキンソン病に対するドパミンアゴニスト治療 最近の話題. パーキンソン病を学ぶ会, 東京, 2021.2.16

兼元みずき. パーキンソン症候群とすくみ足. 第5回みなと・品川神経セミナー, 東京, 2021.6.24

兼元みずき. パーキンソン病治療について考える会. 東京, 2021.7.1

兼元みずき. オピカポンの使用経験. Opicapone Expert Workshop, 東京, 2021.7.5

兼元みずき. パーキンソン病における姿勢異常. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2021.7.26

兼元みずき. PD における睡眠障害と臨床症状および経過. Safinamide を考える会, 東京, 2021.7.27

兼元みずき, 渡辺慶子, 小野賢二郎. Guillain-Barré 症候群の 2 nd IVIg について. 第 6 回城南神経疾患フォーラム, 東京, 2021.9.9

兼元みずき. パーキンソン病に伴う消化器症状～便秘とその他のトピック. 消化管機能セミナー2022～脳神経疾患と消化器疾患のクロストーク～, 東京, 2022.9.13

兼元みずき. パーキンソン病と自動車運転. パーキンソン病オンライン Workshop, 東京, 2022.11.9

兼元みずき, 浅野未希, 村上秀友. 精神症状を呈したてんかん患者に関する考察～神経内科医の立場から～. Epilepsy Web Seminar～てんかんと精神症状を考える～, 東京, 2022.11.10

兼元みずき. 昭和大学におけるデュオドパ療法の現状と課題. 第 7 回品川区進行期パーキンソン病研究会, 東京, 2022.12.7

兼元みずき. 昭和大学における移行期医療の現状. てんかんの移行期医療を考える会, 東京, 2023.3.17

神谷雄己. 成熟期の脳梗塞再開通療法と二次予防. 第 58 回北九州脳血管懇話会, Web 開催, 2021.3.19

神谷雄己. 再開通療法成熟期のいま 江東区で当院がすべきこと. 第 5 回神奈川脳血栓回収療法セミナー, 神奈川, 2021.6.12

神谷雄己. 脳梗塞急性期再開通療法の院内連携と画像診断. 第 15 回 Tokyo ER Meeting, Web 開催, 2021.6.19.

神谷雄己. Solitaire でチーム力 up! . 第 2 回日本脳神経内科血管研究会, 大阪, 2021.8.21-22

神谷雄己. 血栓回収 適応, Evidence. 第 1 回東京脳神経血管内治療教育セミナー, 神奈川, 2021.9.24

神谷雄己. 再開通療法全盛期に地域でわれわれがすべきこと. 第 34 回 湘南脳卒中研究会, Web 開催, 2021.11.13

金野竜太. 発症後 2 年経過してから左下肢単麻痺が徐々に増悪した多発性硬化症の一例. MS Expert Meeting, 横浜, 2021.3.10

金野竜太. パーキンソン病の診断・治療. 第二回パーキンソン病治療セミナー, 横浜, 2021.4.26

金野竜太. コロナ禍での神経難病患者診療の影響/状況. CIDP 座談会 日常診療における CIDP 治療の現状と課題, 横浜, 2021.9.1

金野竜太. 言語機能障害について. 横浜北部 Parkinson's Disease Web Seminar, 横浜, 2021.9.17

金野竜太. サフィナミドの使用経験. 川崎 Parkinson's Disease Web Seminar, 川崎, 2021.10.25

金野竜太. 当院におけるサトラリズマブの使用経験. SHOWA NMOSD SEMINAR, 横浜, 2021.12.3

金野竜太. レビー小体型認知症の運動症状に関する話題. 都筑区医師会学術講演会, 横浜, 2022.2.16

金野竜太. 抗 CGRP 製剤を臨床的にどう組み込むか—当院における抗 CGRP 製剤の使用経験. 片頭痛の新潮流—アジョビ皮下注 225 mg シリンジ発売記念講演会, 横浜, 2022.3.8

金野竜太. CYP 2 C 9*1/*3 保有者の二次進行型多発性硬化症にシポニモドを投与した一例. Metro Multiple Sclerosis Conference, 東京, 2022.9.21

久保田怜美. 認知機能低下前に認められる嗅覚障害と関連する脳領域. 旗の台神経セミナー, 東京, 2022.12.2

久保田怜美. パーキンソン病と便秘. 便秘診療 STEP UP セミナー, 東京, 2023.1.12

栗城綾子. 『塞栓源不明脳塞栓症』診断と予防の最先端. ICM 勉強会～脳神経内科医に学ぶ脳疾患と ICM～, 東京, 2021.11.9

栗城綾子. 塞栓源不明脳塞栓症 (ESUS) 診療 Up to Date. 脳卒中治療 Up to Date, 東京, 2021.11.29

栗城綾子. 脳梗塞患者の退院後までの内科的管理について. 脳卒中医療連携フォーラム, 東京, 2022.7.20

栗城綾子. 急性期病院における頭痛診療の実際～“頭痛外来”ではないけれど～. Migraine Free Seminar in 城東エリア, 東京, 2022.8.24

栗城綾子. ESUS の診断と治療実績, ILR の展望, Monthly LINQ seminar 脳神経内科医からみた潜因性脳梗塞診断と Reveal LINQ の使用意義. Web, 2022.12.20

黒田岳志. アルツハイマー病と正常圧水頭症の鑑別 ～画像と脳脊髄液バイオマーカーの比較～. 城南 Neuro Imaging セミナー, 東京, 2021.3.2

黒田岳志. ナタリズマブが再発予防に有効と考えられた再発寛解型多発性硬化症の 2 症. MS 治療検討会, 東京, 2021.3.23

黒田岳志. 当院の二次性進行型 MS 症例から学ぶこと. MS Expert Meeting in 城南, 東京, 2021.5.13

黒田岳志. 「オピカボン」をどのように活用していくか. PD discussion meeting, 東京, 2021.5.25

黒田岳志. 1 日 1 回のパーキンソン病治療薬の意義 ～服薬アドヒアランスの観点から～. Safinamide を考える会 in 旗の台, 東京, 2021.7.27

黒田岳志. パーキンソン病を知りたい!. 令和 3 年度 品川区難病専門講演会, 東京, 2021.11.18

黒田岳志. COVID 19 ワクチン接種後に発症した NMOSD の 2 症例. JSTN Web Seminar, 東京, 2021.12.1

黒田岳志. JCV 抗体価高値例の Natalizumab 使用後の出口戦略を考える. Novartis MS Expert Meeting, 東京, 2022.4.14

黒田岳志. レビー小体型認知症を知る. 品川区薬剤師会学術集会. 東京, 2023.2.10

慶長雅人. 抗 neurofascin 155 抗体陽性 nodopathy と診断した 76 歳男性例. 第 433 回神奈川神経談話会, 横浜, 2023.1.19

石代優美香. 当院における NMOSD の診療について. JSTN WEB SEMINAR, 東京, 2022.6.10

小室浩康. 脳卒中班における脳梗塞診療の実際～特に心原性脳塞栓症について～. 旗の台抗血栓療法研究会～online～, 東京, 2022.5.17

澤井綾子, 守屋麻美, 津幡拓也, 篠原慶, 八木宣泰, 小西高志, 今井昇, 芹澤正博. 大脳皮質, 白質, 脊髄に病変を認め, 脱髄性疾患を疑った症例. 第 72 回静岡神経疾患懇話会, 静岡, 2021.3.19

高橋聖也. NMOSD の診断と治療について. SHOWA NMOSD SEMINAR, 横浜, 2021.12.3

高橋聖也. 疾患活動性が高いと判断された多発性硬化症の 30 代女性. MS Case Conference, 横浜, 2022.2.17

高橋聖也. 疾患活動性が高いと判断された多発性硬化症の 30 代男性. Expand possibilities for MS, 横浜, 2022.5.23

高橋聖也. 神経免疫治療の今～MS, NMOSD, MG, MOGAD～. 第 86 回神経研究会/横浜内科学会, 横浜, 2023.2.21

鍋島陽子. オピカポンにより運動合併症の改善が得られたパーキンソン病の一例. オンジェンティス錠発売 1 周年記念講演会, 横浜, 2021.9.22

野原哲人. 脳・心連携で診るがん関連脳梗塞. 神経学を極める～Academy of Neurology, 2023.3.23

野元祥平, 高橋聖也, 安本太郎, 正路大樹, 大湾喜行, 上野浩三, 馬場康彦. パーキンソン病に対するカンナビジオールの影響. パーキンソン病セミナー in 横浜青葉, 横浜, 2021.2.18

野元祥平, 刑部祐友子, 正路大樹, 鍋島陽子, 高橋聖也, 安本太郎, 杉本あずさ, 馬場康彦. パーキンソン症候群を呈する筋萎縮性側索硬化症の 70 代女性例. 第 429 回神奈川神経談話会, 横浜, 2021.9.16

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待: L-dopa 治療を支える新たな選択肢. オンジェンティス錠®ライブセミナー, 横浜, 2021.1.22

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. パーキンソン病治療セミナー, 横浜, 2021.1.25

馬場康彦. With COVID-19 時代におけるパーキンソン病診療を考える. パーキンソン病 Web 講演会, 東京, 2021.2.4

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. 東北信 PD リモートカンファレンス, 長野, 2021.2.10

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. パーキンソン病診療を考える会, 横浜, 2021.2.19

]馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. オンジェンティス錠®WEB セミナー, 横浜, 2021.2.24

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. Parkinson's Disease Agora in 阪神北, 大阪, 2021.3.11

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. オンジェンティス錠®WEB セミナー, 横浜, 2021.3.25

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. 第 2 回パーキンソン病治療セミナー in 横浜北部, 横浜, 2021.3.30

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. 第 2 回パーキンソン病治療セミナー, 横浜, 2021.4.26

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポンへの期待 : L-dopa 治療を支える新たな選択肢. WEB セミナー in 久留米, 横浜, 2021.5.13

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法 : オピカポンの特徴とは. PD 治療を考える会 in 神奈川, 横浜, 2021.5.24

馬場康彦. MAO-B 阻害薬ラサギリリン : L-Dopa 治療を支える次の一手か. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2021.5.28

馬場康彦. パーキンソン病の薬物療法 : ドパミンアゴニストの位置づけと経皮投与の意義について. Conference for treatment of Parkinson's disease, 横浜, 2021.6.2

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法 : サフィナミドの特徴とは. Parkinson's Disease Eisai Web Seminar, 横浜, 2021.6.9

馬場康彦. COVID-19 時代におけるパーキンソン病治療. 横浜北部パーキンソン病治療協議会, 横浜, 2021.6.29

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物治療: サフィナミドの特徴とは. Parkinson's Disease Eisai Web Seminar, 横浜, 2021.7.1

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法: オピカポンの特徴とは. 桜薬会学術講演会, 横浜, 2021.7.13

馬場康彦. COVID-19 時代におけるパーキンソン病治療. Yokohama Neuro Seminar, 横浜, 2021.7.14

馬場康彦. With COVID-19 時代におけるパーキンソン病診療を考える. パーキンソン病包括ケアセミナー in 札幌, 横浜, 2021.7.16

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法: オピカポンの特徴とは. オンジェンティス錠®WEB セミナー, 横浜, 2021.7.30

馬場康彦. 最適なオピカポンの使用患者像を考える. オンジェンティス Expert Seminar, 横浜, 2021.7.30

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法: オピカポンの特徴とは. オンジェンティス錠®WEB セミナー, 横浜, 2021.8.24

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法: オピカポンの特徴とは. オンジェンティス錠発売 1 周年記念講演会 in 横浜, 横浜, 2021.8.31

馬場康彦. サフィナミドに関する最新的话题を踏まえて. Parkinson's Disease Expert Meeting in 城南, 横浜, 2021.9.8

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法: オピカポンの特徴とは. Comrade Online Meeting in Kyoto: Treatment for Parkinson's Disease, 横浜, 2021.9.15

馬場康彦. With COVID-19 時代におけるパーキンソン病診療を考える. Neurology Symposium in Gunma, 横浜, 2021.9.24

馬場康彦. With COVID-19 時代におけるパーキンソン病診療について. Otsuka Neurology Web Seminar in Kyoto, 横浜, 2021.10.7

馬場康彦. パーキンソン病の薬物治療: ロピニロール経皮吸収型製剤の位置づけについて. 協和キリン Web セミナー, 東京, 2021.11.24

馬場康彦. With COVID-19 時代におけるパーキンソン病診療について. 大日本住友製薬 難病 web セミナー, 横浜, 2021.11.30

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法：サフィナミドの特徴とは. パーキンソン病診療 WEB 講演会 in 青森, 横浜, 2021.12.2

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法：サフィナミドの特徴とは. Parkinson's Disease Web Seminar in 調布, 横浜, 2021.12.8

馬場康彦. 長期療養を見据えたパーキンソン病治療. Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2022.2.4

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは. パーキンソン病診療 WEB セミナー. 横浜. 2022.2.7

馬場康彦. 長期療養を見据えたパーキンソン病治療. Neurology Web Seminar, 東京, 2022.2.14

馬場康彦. 長期療養を見据えたパーキンソン病治療. Parkinson's Disease Web Symposium, 横浜, 2022.2.21

馬場康彦. パーキンソン病を疑う診療ポイントについて. 地域医療 Web セミナー, 東京, 2022.3.2

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは～. 第 59 回北陸神経内科懇話会, 横浜, 2022.3.18

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは～. パーキンソン病診療 WEB セミナー, 横浜, 2022.6.27

馬場康彦. 長期療養を見据えたパーキンソン病治療. Parkinson's Disease Web Symposium, 横浜, 2022.7.12

馬場康彦. パーキンソン病診療 up-to-date. Forum for non-Motor Disabilities in Parkinson's Disease, 小田原, 2022.7.13

馬場康彦. 長期療養を見据えたパーキンソン病治療. Parkinson's Disease Web Symposium, 横浜, 2022.7.25

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは～. パーキンソン病診療 WEB セミナー, 横浜, 2022.8.19

馬場康彦. 長期療養を見据えたパーキンソン病治療. パーキンソン病診療 UPDATE, 横浜, 2022.8.31

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは～. パーキンソン病治療 WEB セミナー, 旭川, 2022.9.2

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは～. 阪南 6 区パーキンソン病診療セミナー, 大阪, 2022.9.8

馬場康彦. 進行期パーキンソン病の薬物療法～サフィナミドの特徴とは～. 東農 Parkinson's Disease Web Seminar, 横浜, 2022.9.15

馬場康彦. 進行期におけるパーキンソン病治療～サフィナミドの特徴とは～. 海部津島パーキンソン病セミナー, 横浜, 2022.9.29

馬場康彦. パーキンソン病治療の現在～ドパミンアゴニストの役割とは～. パーキンソン病 Web 連続セミナーIN 神奈川. 横浜. 2022.10.14

馬場康彦. パーキンソン病の運動症状について. パーキンソン病セミナーin 島根, 横浜, 2022.10.14

馬場康彦. パーキンソン病の非薬物療法について. 脳神経疾患 on line セミナー, 横浜, 2022.10.19

馬場康彦. 認知症の診療～ご本人らしさを保つために～. 第6回黒川認知症研究会, 横浜, 2022.10.21

馬場康彦. 認知症のケア～薬剤師への期待～. エスファ メマンチン Web セミナー, 東京, 2022.10.24

馬場康彦. 進行性核上性麻痺～病気の理解と治療・日常生活について～. 令和4年度 青葉区難病医療講演会, 横浜, 2022.11.2

馬場康彦. 新規 COMT 阻害薬オピカポン～L-dopa 治療を支える新たな選択肢～. ONO メディカルナビ WEB ライブセミナー, 横浜, 2022.11.8

馬場康彦. パーキンソン病の診療～長期療養を見据えた多面的アプローチ～. パーキンソン病 WEB セミナー, 横浜, 2022.11.9

馬場康彦. 当院におけるパーキンソン病診療の取り組みについて. Neurology Multi Care Forum, 横浜, 2022.11.16

馬場康彦. パーキンソン病の診療～長期療養を見据えた多面的アプローチ～. Parkinson's Disease Web Seminar, 横浜, 2022.12.1

馬場康彦. 進行期におけるパーキンソン病治療～サフィナミドの特徴とは～. 沖縄県神経内科懇話会, 那覇, 2022.12.3

馬場康彦. 進行期におけるパーキンソン病治療～サフィナミドの特徴とは～. パーキンソン病治療を考える会 in 東毛, 横浜, 2022.12.5

馬場康彦. パーキンソン病の診療～長期療養を見据えた多面的アプローチ～. Parkinson's Disease Web Seminar, 川崎, 2022.12.14

馬場康彦. 進行期におけるパーキンソン病治療～サフィナミドの特徴とは～. パーキンソン病診療 WEB セミナー in 尾張北部, 横浜, 2022.12.26

稗田宗太郎. Parkinson 病と消化管. 診療科連携セミナー, 東京, 2021.1.25

稗田宗太郎. MAO-B 阻害薬の効果とサフィナミドへの期待. 第 2 回 品川大田 Neuro Seminar Series, 東京, 2021.1.28

稗田宗太郎. 当院での PD 治療の現状と MAO-B 阻害薬の効果. Neurology Web Seminar, 東京, 2021.3.9

稗田宗太郎. 当院での LCIG 導入及び導入検討例の経過と課題. 第 3 回進行期パーキンソン病地域医療連携研究会, 東京, 2021.05.28

稗田宗太郎. ドパミンアゴニストに上手い使い分け方はあるのか? Otsuka PD Web Seminar, 東京, 2021.6.18

稗田宗太郎. Wearing off に対する治療戦略～オンジェンティス錠の長期処方を踏まえて～. パーキンソン病治療について考える, 東京, 2021.7.1

稗田宗太郎. 実臨床におけるオピカポンの活かし方 ～長期処方解禁へ向けた期待を込めて～. PD Expert Discussion Meeting, 東京, 2021.07.20

稗田宗太郎. 「L-Dopa の次」を考える. Safinamide を考える会 in 旗の台, 東京, 2021.7.27

稗田宗太郎. 進行期 PD 治療における Device Aided Therapy の有用性. 金沢 LCIG 研究会, 金沢, 2021.12.21

稗田宗太郎. 進行期 PD 治療の問題点と Device Aided Therapy ～LCIG の話題を中心に～. 第 5 回品川進行期パーキンソン病研究会, 東京, 2022.7.13

稗田宗太郎. LCIG 好適例と導入時の注意点. 第 6 回品川区進行期パーキンソン病研究会, 東京, 2022.10.7

稗田宗太郎. COVID-19 は認知症診察に影響を与えたのか. 第 6 回認プロシンポジウム, 金沢, 2022.10.18

稗田宗太郎. 進行期パーキンソン病におけるデバイス治療～LCIG 療法を中心に～. 第 8 回品川区進行期パーキンソン病研究会, 東京, 2023.2.22

二村明徳. 時間感覚の臨床研究: 認知症の時間感覚を考える. 第 7 回時間言語フォーラム, Web, 2021.1.23

二村明徳. 認知症診療におけるバイオマーカーと CIScore. 第 18 回脳核医学画像解析研究会, 東京, 2021.9.18

二村明徳. 脳と心の時間. 第 29 回 N-P ネットワーク研究会, 横浜, 2021.12.7

二村明徳. パーキンソン病と認知症. 第 3 回藤が丘 PD 連携講演会, Web, 2021.12.14

二村明徳. 発作後黒内障の症例. てんかんセミナー, 横浜, 2022.3.30

二村明徳. 当院のパーキンソン病診療について. パーキンソン病セミナー IN 横浜青葉, 横浜, 2022.4.22

二村明徳. 脳と脂質の関係性: 人生 100 年時代を迎えて. 第 4 回藤が丘・青葉 DPN, 横浜, 2022.12.14

二村明徳. 高次脳機能障害の診方. 第 433 回神奈川神経談話会, Web, 2023.1.19

三木綾子. 塞栓源不明脳塞栓症に対するブレインハートチームの取り組み. 脳卒中 web seminar, 東京, 2021.5.11

三木綾子. 潜在性脳梗塞診断を極める ～施設例から得られる知見～. LOOK for AF Seminar, 東京, 2021.7.20

三木綾子. 脳血流 SPECT 検査により脳卒中様発作と確定診断した MELAS の症例. 城南 Neuro Imaging セミナー, 東京, 2022.12.9

水間啓太. 脳・心連携で診るがん関連脳梗塞. Jonan Anti-Coagulation Agents Seminar, 東京, 2021.3.19

水間啓太. 脳卒中医視点で適応判断に迷った症例. Abbot Structural Heart 2 nd PFO National Case Conference, 東京, 2021.4.28

水間啓太. HBR を意識した脳卒中診療. 旗の台抗血栓療法研究会, 東京, 2021.5.26

水間啓太. PFO 閉鎖術～Brain Heart Team 2 年目の深化と連携～.脳卒中治療 Up to Date, 東京, 2021.6.17

水間啓太. 脳梗塞急性期診療における離床. 脳卒中リハビリテーション講演会, 東京, 2021.6.28

水間啓太. Brain Heart Team で診る脳卒中診療. 心神眼カンファレンス, 東京, 2022.3.7

水間啓太. 脳-心連携の重要性について～ブレインハートチーム 3 年目の深化と連携～. Brain & Heart Web Conference in Hiroshima, 広島県で始まる 2 つの脳梗塞予防治療～その適応と治療法は?～, 広島, 2022.10.26

宮内淑史. より良い再開通治療を目指して. 脳卒中診療 Up to Date, 東京, 2021.11.29

村上秀友. 脳内ドパミンに注目して少し見えてきたパーキンソン病の根本病態と治療効果. Neurology Conference, 東京, 2022.4.2

村上秀友. エビデンスを地域で生かす Parkinson 病のケア. 地域包括ケアのためのパーキンソン病 Web セミナー in 品川, 東京, 2022.6.22

村上秀友. MAO-B 阻害薬の新たな展開. Parkinson's Disease 薬物療法 Experts Meeting, 東京, 2022.7.5

村上秀友. パーキンソン病の認知機能障害 Up date. 品川認知症勉強会. 東京, 2022.7.8

村上秀友. Parkinson 病～臨床症状間の関連性から見えてくる病態～. Neurology Update Seminar in 城南, 東京, 2022.7.19

村上秀友. Parkinson 病診療における MAO-B 阻害薬への期待. Parkinson's Disease web Symposium, 東京, 2022.8.30

村上秀友. Parkinson 病の認知機能障害に注目して見えてきた新たな治療戦略. Parkinson's disease WEB seminar, 東京, 2022.9.26

村上秀友. MAO-B 阻害薬の最近の話題. 明日から役立つ神経治療勉強会, 東京, 2022.9.29

村上秀友. 認知機能に着目して見えてきた Parkinson 病の病態. 第 5 回神経変性疾患を学ぶ会 in West Tokyo, 東京, 2022.10.18

村上秀友. 神経心理症状から考察した Parkinson 病の病態. Neurology Conference in Tochigi, 栃木, 2022.11.16

村上秀友. 治療につながる Parkinson 病の病理を神経心理症状から考察する. Parkinson's Disease Update Seminar, 東京, 2022.12.15

村上秀友. 認知機能に着目して見えてきた Parkinson 病の病理. 実臨床における PD 治療を考える会, 東京, 2023.2.16

村上秀友. 神経心理症状から考察した Parkinson 病の病態. 第 2 回北陸脳神経内科領域 Specialty 講演会, 金沢, 2023.3.9

村上秀友. 神経心理症状と画像・脳脊髄液バイオマーカーに着目して見えてきた Parkinson 病の病態. 栃木県認知症核医学研究会, 宇都宮, 2023.3.14

森友紀子. 認知症講習会, 第 10 回診療所看護師会, 東京, 2021.4.24

森友紀子. 認知症講習会, 城南三法人介護事業所研修会, 東京, 2021.10.30

森友紀子. レビー小体型認知症の解説. ふるさと研修会 vol.47, 東京, 2022.4.9

森友紀子. 当科の認知症診療への取り組みとコロナ禍の影響. Neurology Update Seminar in 城南, 東京, 2022.7.19

森友紀子．認知症診療の現場から．第4回認知症ケア講座 地域から考える認知症（ケア），東京，2022.8.6

森友紀子．認知症早期診断に繋げるために～認知症カフェの取り組みも含めて～．品川区薬剤師会学術講演会 脳神経内科領域疾患を知る，東京，2023.2.10

森友紀子．認知症の原因を探る．品川大田 Neuro 連携の会，東京，2023.3.20

門馬佑太郎，橋口幸宜，三木綾子，飯塚奈都子，兼元みずき，笠井英世，村上秀友．多発性硬化症と診断し，B型肝炎既感染者として治療を開始した52歳女性例．MS Expert Meeting．東京，2022.8.26

安本太郎，高橋聖也，正路大樹，野元祥平，大湾喜行，馬場康彦．視神経炎発症より34年後に脊髄炎で再発した多発性硬化症の男性例．MS Expert Meeting，横浜，2021.3.10

安本太郎，高橋聖也，正路大樹，鍋島陽子，野元祥平，杉本あずさ，馬場康彦．新規COMT阻害薬に対する対象症例について考える．第2回パーキンソン病治療セミナー，横浜，2021.4.26

安本太郎．地域医療でのパーキンソン病治療 認知機能障害合併例におけるゾニサミドの有用性．北関東ライブ配信講演会 2022 パーキンソン病治療を考える，日立，2022.12.21

渡辺大士．当科での不眠症治療，睡眠薬使用について．旗の台 Insomnia Disorder WEB Conference，東京，2021.2.4

渡辺大士．脳神経内科領域で役立つ漢方薬．2021年度第222回東洋医学研究会，東京，2021.12.8

渡辺大士．脳神経内科領域と漢方．2022年度第7回東洋医学研究会，東京，2022.11.16

(4) その他の対外活動（委員会，取材など）

(A) 委員会等（学会の役員，委員等は除く）

笠井英世．区南部圏域脳卒中医療連携推進幹事会委員

金野竜太．2021年度共用試験臨床実習前OSCE外部評価者（東邦大学）：公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

村上秀友．2022年度共用試験臨床実習前OSCE外部評価者（防衛医科大学校）：公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

村上秀友．2022年度荏原病院東京都地域拠点型認知症疾患医療センター委員

森友紀子．2022年度荏原病院東京都地域拠点型認知症疾患医療センター委員

(B) 取材等

小野賢二郎, 森友紀子. 在宅医療と連携,多機能な活動を展開 昭和大学病院「もの忘れカフェ」. 日本認知症予防学会 東京都支部会報, 2021.10.31

金野竜太. 「頭痛,めまい,痺れなど神経症状を他の診療科と連携で治療」. 頼れるドクター 横浜 2022-2023 版, 日販アイ・ピー・エス株式会社, 2022.3.31

三木綾子. 「最新研究で判明 女性の認知症予防にアノ野菜」. 週刊女性, 主婦と生活社, 2023.3.28

森友紀子. 明日も晴れ! 人生レシピ『ありのままの自分を生きる 認知症を受け入れて』. NHK・E テレ, 2021.8.13

(C) 市民講座

黒田岳志. 認知症の最新医療 ～共生と予防を両輪として～. 第 48 回 昭和大学公開講座 (富士吉田校舎) .山梨, 2022.5.28.

[9] 研究助成

小野賢二郎．厚生労働省・難治性疾患等政策研究事業「アミロイドーシスに関する調査研究」・研究分担者（研究代表者・内木宏延）

小野賢二郎．文部科学省/日本学術振興会・平成 31 年度科学研究費補助 基盤研究 (C)「膜障害に焦点を当てた高分子 A β オリゴマーの毒性機序に関する検討」・研究代表者

小野賢二郎．日本医療研究開発機構・令和元年度 脳科学研究戦略推進プログラム（融合脳）「レビー小体型認知症 (DLB) の病原性蛋白質 α シヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発」・研究分担者（研究代表者・望月秀樹）

小野賢二郎．日本医療研究開発機構・平成 30 年度 医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) 一般型実用化開発タイプ「アルツハイマー病の新規治療薬の創出」・研究分担者（研究代表機関・日本臓器製薬株式会社）

小野賢二郎．文部科学省/日本学術振興会・平成 31 年度科学研究費補助 基盤研究 (C)「アミロイド β 毒性阻害を標的としたアルツハイマー病発症予防健康食品成分の探索」・研究分担者（研究代表者・辻まゆみ）

小野賢二郎．文部科学省/日本学術振興会・平成 31 年度科学研究費補助 基盤研究 (C)「音楽運動療法を活用した地域医療福祉連携の認知症予防支援プログラムの開発と評価」・研究分担者（研究代表者・小口江美子）

木村篤史．文部科学省/日本学術振興会・令和 2 年度科学研究費補助 若手研究「ビタミン B₁₂ のアルツハイマー病の予防・進行抑制機序の解明 基礎から臨床まで」・研究代表者

金野竜太．文部科学省/日本学術振興会・令和 2 年度科学研究費補助 基盤研究 (C)「統語処理を支える脳内ネットワークの機能低下が言語機能に及ぼす影響」・研究代表者

杉本あずさ．文部科学省/日本学術振興会・令和 2 年度科学研究費補助 若手研究「アルツハイマー病における時間認知障害—関係発達論による神経心理学の展開—」・研究代表者

馬場康彦．文部科学省/日本学術振興会・令和元年度科学研究費 基盤研究 (C)「パーキンソン症候群の難治性疼痛と歩行障害に対する脊髄刺激の影響」・研究代表者

二村明德．文部科学省/日本学術振興会・令和 2 年度科学研究費補助若手研究「忘れた時をつなぐ“ことば”の研究」・研究代表者

村上秀友．文部科学省/日本学術振興会・令和 3 年度科学研究費 基盤研究 (C)「脳内ドパミンの賦活によるパーキンソン病の治療効果を予測する神経心理学的背景」・研究代表者

渡辺慶子．バイエル薬品・2022 年バイエル薬品アカデミックサポート「脳 MRI の皮質構造解析を用いた神経膠腫と多発性硬化症の鑑別診断技術の開発」・研究代表者

[10] 附属病院の紹介

藤が丘病院

藤が丘病院脳神経内科は、横浜市北部地域の地域基幹病院として、脳血管障害や神経変性疾患など幅広く診療を行っています。2022年10月より新たに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にも病床を構え、リハビリテーション病院との連携をさらに充実させられる体制となりました。

脳血管障害は、脳神経外科と共同で脳神経センターを運営し、一般病棟の他に脳卒中ケアユニット(SCU)3床を有しております。SCUでは脳神経センターの専門スタッフによる治療のほか、3対1の看護、早期からのリハビリテーションを行っています。また、救急隊や地域の医療機関からのスムーズな受け入れを実現すべく、脳卒中ホットラインも設置しております。治療では、脳梗塞超急性期には、経静脈的血栓溶解療法のほか、脳神経外科とも連携し、血栓回収ステントによる血管内血栓除去術などが専門医の判断で適応に応じて施行可能となっております。患者の病態に合わせた適切な検査や看護、リハビリ、治療を行うことで、急性期から慢性期までの脳卒中診療を充実させ、質の高い医療を提供します。

一方で、パーキンソン病は、横浜市北部地域随一の専門診療基幹として、数多くの患者様の診療を行っています。2022年からは、パーキンソン病を対象としたリハビリ目的入院の試みを始めました。近年、神経免疫疾患の診療にも積極的に取り組んでおり、入院・外来問わず患者をご紹介いただいております。今後も近隣の医療機関とも連携をとり、慢性期から急性期医療、高度救急医療を実践する地域の基幹病院における一員としての役割を果たすとともに、地域医療に貢献できる診療科として努力してまいります。

現在のスタッフ7名体制に加え、2022年度は3名の専攻医を迎え、2023年度には新たに2名を迎える予定です。今後も昭和大学脳神経内科医局の発展に貢献できるようスタッフ一丸となって努力して参る所存です。

(文責：二村明徳)



横浜市北部病院

昭和大学横浜市北部病院は、横浜市医療政策の一つである「市内を6ブロックに区分する医療圏配置計画」に基づく民設・民営の病院誘致により、2001年（平成13年）4月1日に、北部医療圏の急性期医療を担う中核病院として開院しました。脳神経内科は開院当初より、内科の診療部門の一つとして、腎臓・糖尿病・内分泌・血液・腫瘍・リウマチ膠原病などの各診療科と密な連携のもとに診療に従事しています。そのため、脳神経内科疾患だけでなく、内科疾患にからんだ神経疾患も多く、様々な症例に対応しています。対象疾患は脳神経内科全般であり、主に変性疾患、脳血管障害、脱髄性疾患、炎症性疾患、機能性疾患等、幅広く診療しています。また、内科の診療部門の一つとして、発熱などを主訴に来院する患者への初期対応も行っております。

教育に関しては、丁寧な診察を行い、必要な検査を自分で考え、診断治療について自分の言葉でまとめることができるように指導しております。そして、興味を持った症例について学会で症例報告を行い、最終的に論文化できる能力を身に着けることを目標にしています。

研究に関しては、MRIなどの神経画像を用いた臨床研究を主としています。本年度は、カリフォルニア大学サンフランシスコ校脳神経外科のEdward Chang教授とマックス・プランク認知神経科学研究所のAngela D. Friederici教授と共同して、神経膠腫患者の言語機能に関する知見をまとめました。現在、東京大学大学院総合文化研究科と東京女子医科大学先端生命医科学研究所と共同して、神経膠腫患者の言語機能と脳内ネットワークの構造的可塑性に関する研究を行っております。今後は、神経膠腫に加えて神経変性疾患を対象に、言語の脳内ネットワークの構造的可塑性を解明することを目標として、各種神経画像解析を駆使した研究を行う予定です。

（文責：金野竜太）



江東豊洲病院

・診療

江東豊洲病院 脳神経内科は、外科手術を必要としない脳神経系の診療全般を担当しております。日本神経学会指導医・専門医のほか、脳卒中専門医、脳神経超音波検査士を有し、脳神経疾患の急性期診療のほとんどを自科で包括的に行うことができます。また、脳神経外科と連携し、脳血管センターとして夜間を含め終日独立した救急診療を行っております。

・対象疾患

救急診療では、脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血などの脳卒中を中心に診療するとともに、脳炎、髄膜炎、けいれん、ギラン・バレー症候群などその他の急性期脳神経疾患を含め、脳神経の救急疾患を幅広く対象としています。外来診療では、頭痛・めまい・しびれ・ふるえなどの診療、また診断のついていない認知症やパーキンソン病などの詳細な診断検査も行います。

・治療

できる限り患者さんの負担が少ない検査、治療を選択します。また、脳神経外科、リハビリテーション科と連携し、適切な手術方針、早期のリハビリテーション介入をすすめ、患者さんの健康寿命延伸に努めております。

・特徴的な診療領域

当科の特色として、脳卒中診療と脳神経超音波検査があります。脳卒中の急性期診療では、血栓溶解療法を含めた内科的治療を適応に応じて迅速に行い、また、脳血管内治療を行う脳神経外科医との速やかな連携を行います。脳梗塞病型診断においては超音波診断を中心とした徹底的な原因究明を行い、それぞれの患者様に最適な再発予防法、指導を提供します。脳神経超音波検査に関しては脳神経超音波検査士の資格を持つ医師が専門的な診断を行っております。

・研修

日本神経学会の教育施設であるほか、日本脳卒中学会、日本脳神経超音波学会の研修施設であり、これらの専門医取得が可能です。

・実績（2022年1月～12月）

総入院患者数	264 例	うちアルテプラザー（tPA）	
脳梗塞	167 例	静注療法	15 例
急性期再開通療法	33 例	経食道心エコー検査	35 例
		神経伝導検査	25 例

（文責：栗城綾子）



編集後記

今回、医局年報第6号の作成に携わらせていただきました医局長の笠井です。

私は医局長として2019年8月に前医局長で同期でもある黒田先生からバトンを受け継ぎ、早3年半が経過しました。今号は小野賢二郎教授の金沢大学脳神経内科教授就任のために離任され、新教授として本学出身・元当科教室員であった村上秀友教授が就任された激動の令和3年、4年度の当医局の2年間の活動記録がぎっしりと詰まった合併号である一冊となっています。ぜひとも当医局員の努力と歩みを見ていただければと思います。

さて、この2年間は新型コロナなどさまざまな出来事で賑わった年でもありましたが、特に際立ったのは大谷翔平選手の大活躍ではないでしょうか？大谷翔平選手のすごさは、なんと言っても以下の3点に尽きるかと思います。まずは、①プロの世界で前代未聞と言える二刀流を実現していることです。小学生や中学生・高校生ではエースで四番が通用していますがプロ野球だと両立させるのが非常に難しいと言われていました。打者と投手ではトレーニング方法や求められる事が全く違うからです。すなわち同じ野球という中にありますがまさに別競技ということになります。打者の練習もしなくてはいけないし投手の練習もしなくてはいけない。単純に通常の選手の倍は練習をしなくてはいけないという事になります。二刀流はそれだけ凄いことなんです。ちまたでは冗談半分、大谷翔平選手の凄さを別の競技で例えられています。『サッカーではゴールキーパーだけど得点王！』『学問ではノーベル物理学賞とノーベル文学賞を両方受賞！』『陸上では100m走とフルマラソンでメダリスト』『ロードレースではスプリンターだけど山岳賞』などなど。端的に言えば全く違う2つの分野を同時に、しかも高いレベルでこなしているという事になります。そして、②日本人離れしたフィジカルの持ち主で異国でもしっかりと順応していける力があることです。二刀流を今日まで継続できているのもこのフィジカルの強さによるものといわれています。アジア人はどうしても海外の選手と比べると、骨格が細いため体格で見劣りしてしまいます。また、これはプレーにも差が出ていて、日本人打者がメジャーで力を発揮できないのはこのフィジカル面での差が大きいです。しかし、大谷選手はメジャーで試合に出場するにあたり、筋力トレーニングを中心としたフィジカル面を強化。これが功を奏し、海外の選手にも負けない体格を手に入れました。またすごいのが、その筋肉をうまく自身のものにしているところです。よく筋肉をつけすぎると怪我をしやすい身体になってしまうと言われてますが、大谷選手の場合は上手く筋トレ効果をプレーに反映できています。40本近くのホームランを量産できているのは、なんと言ってもこの強靱なフィジカルによるものだといわれています。そして最後に③人間性が非常に優れている点です。ある試合で2回と4回の終了時に、審判団によるボディチェックを受けたそうです。異物付着（滑り止めのロジン以外、松やになど）の有無を調べる初めての検査となったそうですが、自ら帽子とグローブを差し出し、嫌な顔一つ見せずに終始笑顔で協力したそうです。その爽やかな振る舞いに、記者からも称賛の声が寄せられたそうです。普通こういったケースの場合、選手は自分が疑われているのではないかと感じてしまい、表情が曇ったり怒りが込み上げたりすることが多いと思います。しかし、大谷選手はこのようなケースでも紳士に笑顔で対応しています。すごいですよね。愛されないはずがないですよね。こんな姿を見たら、国籍・人種を問わず人気にならないわけがない。ほんと素晴らしい人格の持ち主とおもいます。

私が幼少の頃野球をやっていたため、大谷選手の話題に熱く、そして大分長く触れてしまいましたが、令和3・4年度は、当医局の最も重要なミッションである診療・研究に関して、どのような創意・工夫がなされどんな成果が得られたのでしょうか？

当科においては、新教授を迎えるという激動であった2年ではありましたが、昭和大学病院および附属病院から多数の学会・研究会での発表が行われ、論文・総説などの執筆がありました。一方で臨床に

おいては脳卒中を始め、認知症・変性疾患、頭痛やてんかんなどの発作性疾患、末梢神経・筋疾患まで幅広い範囲の患者さんの診療に携わってまいりました。しかし一方でこの2年はコロナ禍が原因で結果的には外来患者数・入院患者数は、大きく減少してしまいました。受診控えというのも大きく影響していたに違いありません。この原稿を執筆しています現在（令和5年3月）、長い長いコロナ禍がやっと明けそうです。大学病院としても地域医療としても当脳神経内科が必要とされていることはコロナ禍前より実感しております。来年度、患者数という単純な目標だけではなく、今まで以上に周りから認められるよう、当医局がさらに努力していきますので、どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。最後になりますが、昭和大学脳神経内科に関わり支えてくださった関係各所の多くの方々に、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。今後とも当医局を温かい目で見守って頂ければ幸いに存じます。

医局長 笠井英世